京城日報　四日夕刊
發行所 京城太平通二丁目 合名會社 京城日報社
印刷人 小川三之介

○露軍羅國侵入軍を撃退

露國公報に曰く、ブカレストの南方に於て露軍は敵の攻撃を撃退して敵をコマナより驅逐しコナスチーを占領しドブルヂヤに於ては一日セルナヴォダ橋の西部を奪取したり（倫敦電報）

○希臘皇帝要求に應す

希臘皇帝は英佛聯合艦隊司令長官フーネ提督の要求に應じ軍器の引渡を承諾せり（紐育電報）

○新兵輸送終了

四日朝騎兵四十四名野砲兵三十五名釜山に上陸同夜十一時發列車にて龍山に向ふべく之を以て新兵の輸送は全部終了する譯なり（釜山特電）

○蔡鍔靈柩

故蔡鍔氏の靈柩は五日上海著の豫定なり（上海特電）

○支那外交懸案

新任外交總長伍廷芳氏は二十八日晩車にて天津より入京し二十九日午前十時二十分黎大總統に進謁したるに黎總統の優遇頗る厚く二時間に亙りて諸種外交問題に就きて密議し十二時過ぎ退出したるが四日正式就任の上天津老西開案及び鄭家屯案を最先に開議する筈なり猶現在懸案にして新總長の解決を待つ者は十三件の多きに達し居れるが即ち左の如しと

（一）鄭家屯案（二）靑木顧問聘用案（三）老西開案（四）漢口華景街案（五）新疆の露哈案（六）外蒙議員取消案（七）雲南片馬境界案（八）中亞公司借欵案（九）中央鐵道借欵案（十）澳門劃境案（十一）制錢借欵案（十二）日本人關田某被殺案（十三）日本の福建警察派遣案、以上の外に最近起れる米支借欵案あり（北京）

○改省四十九省案

內務部は中央集權に資せん爲め全國を四十九省に區劃し從來の熱河、綏遠、察哈爾、川邊外に靑海、阿爾泰、洮遼の三特別區域を置かんと立案し目下國務會議に附し審議中なるが右は行政上の必要以外に多數の督軍及び省長を增置して黨人に地位を與へんとの意味ある者にて地方長官等は自己の削權を畏れて贊成せず張勳將軍の如きは一省を數省に分畫する時は意見愈々分かれて統一愈々困難なりとて最先に大反對を電告したりと（北京）

○曹氏朝鮮經由

日支兩國の親善策實行の爲め近く日本に派遣せらる可き支那特派使節曹汝霖氏は近く北京發奉天經由日本に赴くに決定せりといへば多分朝鮮を經由するならんと

○總督西向

二日東京を發せる長谷川總督は高橋總督附武官齋藤大島兩副官、神田秘書官等を隨へ三日伊勢大廟に參拜後京都に向ひ同夜は近太旅館に宿泊せしが四日は桃山御陵に詣で午後七時京都發岩國に向ふ同夜は岩國泊りの豫定なり

○政務總監饗宴

山縣政務總監は四日午後六時より前總督附武官森海軍少將を朝鮮ホテルに招待送別宴を張る總督府よりは各部長官總務局長等出席す

○政務總監訪問

山縣政務總監は三日午前十時遠藤秘書官を隨へ龍山軍司令官々邸に秋山大將を訪問陞任祝賀の挨拶あり雜談の後退邸せり

○農業校長會同（第一日）

各道農業學校長會同第一日は四日午前九時三十分より總督府第二會議室に開催出席者は各道農業學校長水原農林學校教師高等普通學校農業科教師等二十餘名の外總督府よりは關係部長官課長高等官等列席宇佐美內務部長官統裁の下に直ちに日程に入り午前午後とも聽取事項の聽取ありて四時閉會したり

○地査委員會

高等土地調査委員會第一部會は四日午後一時三十分より總督府第一會議室に開催、山縣委員長以下第一部に屬する各委員出席し土地査定不服申請に關する件を審議の上午後四時散會したり

○秋山大將訪問

駐劄軍司令官陸軍大將秋山好古氏は四日午後一時より野津副官を隨へ山縣政務總監を總督府に訪問し續いて昌德德壽兩宮に伺候李堈公李埈公兩殿下を敬訪歸任の挨拶をなせり

○兩宮代表祝辭

李王職長官閔丙奭子は昌德德壽兩宮を代表し四日午前十一時龍山軍司令官官邸に秋山軍司令官を訪問陞任祝辭を述べ十一時三十分退邸せり

○軍司令官に祝辭

立花第十九師團長古海憲兵隊司令官白水參謀長以下軍司令部師團司令部龍山駐屯各隊陸軍上長官以上の軍星は三日秋山大將を軍司令官官邸に敬訪大將陞任の祝辭を述べたり

○秋山大將招宴

駐劄軍司令官陸軍大將秋山好古氏は六日午後三時より軍司令官々邸に京龍有力官民約二百名を招待し茶菓の饗應をなす由にて其々案內狀を發したり而して八日午後六時よりは山縣政務總監以下總督府李王職各大官陸軍高級將校朝鮮貴族を招待し晩餐會を催す由

□黃興蔡鍔追悼大會

十二月一日北京中央公園に於て黃興蔡鍔兩氏のために追悼大會を開く此日官衙は一般に事務を休み、半旗を揭げて弔意を表し黎大總統は法制局參事金保康氏を代理として遣はして祭を致し一般の來弔者數萬の多きに達せり寫眞（上）は祭場前（下）は公園外參拜者來集の光景なり（北京）

○松永道長官出張

松永京畿道長官は神尾書記外三名を隨へ管內視察及び交通狀況視察の目的を以て四日午前九時出發江原道春川に向ひたるが歸途京畿道加平郡に立寄り六日歸任の筈なり

○向井檢事長出發

平壤覆審法院長向井檢事長は三日夜南大門驛發列車にて平壤に歸任せり

○神田忠南警務部長

今回忠淸南道警務部長に轉任せる前廣島憲兵隊長憲兵中佐神田長平氏は四日朝著京浦尾旅館に入り同十時憲兵隊司令部に出頭總長以下に著任挨拶を爲し共より齋藤副官の案內にて總督府訪問政務總監以下各部長官局長に著任挨拶を爲せり赴任地への出發は多分五日夜ならんと

○次田憲兵中尉著京

咸鏡北道慶源憲兵分隊長に任命せられたる前金澤憲兵隊副官憲兵中尉次田的二郎氏は四日朝著京直ちに司令部に出頭挨拶を爲し四日夕出發赴任の途に就く

○持地局長微恙

土木局長持地六三郎氏は仁川より歸來後微恙の爲四日缺勤自邸に於て療養中なり

○山口少將赴任

鎭海防備隊司令官として來任し本年四月要港部開廳に當り同部司令官に榮轉し駐留二年能く創始の任務に鞅掌して著々其實績を擧げし山口海軍少將は今回橫須賀工廠長に榮轉したる田中盛秀中將の職を襲ふて佐世保工廠長に轉任し新任地に於ける引繼事務の急を告ぐる爲め三日午前九時要港部に登廳し告別式を擧げ同十時官民數百名の見送を受け緊洞海要港部棧橋より海軍汽艇に乘込み直ちに馬山に至り午後〇時四十分同所發汽車にて釜山を經て任地に向け出發したるが馬山停車場にても官民の見送り頗る盛なりき

○新任鎭海司令官

臨時南洋防備隊司令官海軍少將東鄕吉太郎氏は今回中將に昇進し鎭海要港部司令官に任ぜられしが目下尙ほ南洋にあれば著任の期日は未定なるが同中將は海軍砲術學校長より歐洲戰役勃發以來南洋艦隊司令官として英國艦隊と共に南洋方面の攻防任務に著き而も英國同艦隊司令官に對し先任司令官として劃策苦心する所あり以て今回の榮進を見たる次第にして春秋に富み未來ある提督として同部內に囑望されつゝあり（鎭海）

○振替送金制の採用

鮮滿貿易に對する鮮銀の新施設

朝鮮滿洲間の貿易は鮮銀の北進活動と滿鮮經濟關係の密邇を加へ來るに伴ひ逐年加速度の發展を來し大正四年に於ては一千萬圓臺に達する好況を見たるが朝鮮銀行にては一層鮮滿貿易の開拓を企つると共に兩地間金融の圓滑を圖る爲め來る十五日より振替送金なる新制度を開始する事に決定せり右に付同部支店課長は曰く從來銀行による送金は當座附替並に爲替送金の二途あるも共に若干手續上の煩累と面倒あり今少しく之れを簡便に取扱はんとする主旨より振替制は朝鮮銀行に當座預金の取引を有する向に限り其の小切手に送り先支店名並に受取人氏名を書し銀行に持參さるれば無手數料にて其の送金を取扱ふものなり唯其の實施地は開始の目的が滿鮮貿易の發展助長をなすにあれば滿洲各店と朝鮮本支店（羅南及び會寧を除く）間及び滿洲各店相互間にして朝鮮內各本支店間は當分取扱はず又同業者の送金も之れを受附けず唯何分無手數料の爲め銀行は幾十の犧牲を拂ふ譯なれど支那人の送金並に銀行利用等には多少の効果を齎らすべきか尙ほ小切手樣式等は實施後の成績に鑑み相當改正の必要を生ずるやも圖り難けれど當分現在の儘なり云々因に如斯簡易の銀行間に行はれ居れど內地各銀行間には送金手數料等の關係より何れも未だ採用せず但し金融界の大勢は早晩該制の實施を促しつゝあるもの、如し

○滯貨と仁川

船腹不足を訴へ請願す

仁川に於ける十一月末日現在穀物在庫數は約十九萬石にして內米は約十二萬石に達し居れり其他大豆小豆麥等雜穀約七萬石なるが昨今船腹の不足は奧地よりの廻著と相俟つて日に〳〵滯貨增加し來るの有樣にて一般同業者は此れが爲め著しき打擊を蒙らんとせるを以て同業團體たる仁川穀物協會にては左の如き建議書を商業會議所に提出し商業會議所にては直ちに評議員會に附議の上何等かの方法を講じて刻下の急を救はんとする由なるが建議書の內容左の如し

建議書

歐洲戰亂の結果海運界は未曾有の活況を呈し從つて運賃の高率は言ふ迄も無く船腹の缺乏を訴ふるの聲大なるに至れり然して本年に於ける米大豆其他雜穀の收穫は稀有の豐作にして殊に米穀出廻りの最盛期に迫りつゝ有る當港の如き其の堆積數約二十萬叺の多きに達し金融は之れが爲めに澁滯し商取引を阻害する事甚大にして大決濟期を眼前に控へし當業者の困憊誠に言ふに忍びざるもの有之候而して大阪商船及び尼ヶ崎汽船の如き僅かに名目のみの定期船運航致居候も其の船型を小にせし觀無きに非ず而已ならず運賃率等の如きも從來の倍額を支拂ひつゝ有る有樣にて爲めに日本內地の米價騰貴せるに反し朝鮮に於ては却て安値を唱へつゝ有るが如き狀態にて之等種々の關係よりして一層穀類の堆積を見候次第にて當業者の苦心するに餘りあるものに有之候然るに今回當港經由天津に向ふ日本郵船會社所屬の高砂丸、三河丸、相模丸の三隻は天津より歸航內地に直航するものなるが之等三隻をして多少とも當港堆積貨物輸送の任に當らしむる目的を以て特に歸路寄航せしめ候は唯單に當業者の至幸のみならず本港財界の爲めに不少の利益を來すものと存候願はくば貴會議所に於て右三船寄港方實現致候樣御盡力相煩度此段及建議候也

仁川穀物協會々長 奥田貞次郎

仁川商業會議所
會頭 奥田貞次郎殿

○鐵道輸送旺盛

貨物列車の新增發

鐵道局にては屢報の如く沿線の廻穀逐日旺盛を告げつゝあるに付先月二十六日より京釜線方面に於ては一往復の貨物列車を三往復に增加し都合四往復とし輸送に努めつゝあれど尙ほ不十分に付汽車課にては龍山に於て教育中の敎習生を一時京釜線方面に歸還せしめ五日より大田釜山間に一往復の貨物列車を增發する事となりしが以上を以て釜山著車は從來每日九十車內外のもの約百車に增加すべく鐵道全線の貨物輸送力は九、十月頃の平時に比し二倍半の激增を見鮮鐵車輛の活動は空前の盛況を呈し居れりと

仁川

▲町里總代設置　仁川府に於ては從來鮮人側に衛生組合ありたるも現今に於ては之も廢止されあるを以て今回此れに交ふるに町里總代を設置し町里內公共事務を補助せしむ可く目下研究中なりと▲度量衡器普及狀況　仁川に於ける十一月調査に係る商取引用に供したる度量衡器普及狀況を聞くに度器五百八十一、量器九百二十三、衡器八百七十一個にして富川郡を合したる戶數一萬九千三百四十一戶に對する普及器物金高は一萬六千二十八圓一千戶當り八百二十九圓にて朝鮮各地に於ける普及成績より言へば京城に次ぎ第二位なり▲志方田講師逝去　仁川商業專修學校講師志方田熊紀氏は數日前より胃腸病にて病褥にありしが三日午前三時遂ひに逝去したり氏は同校に教鞭を取る事四年間にして國語漢文を擔當し頗る嚴格にして造詣深き學問ありたり

嶺南巡り　鯨洋

□馬山より　晉州の慶南道廳は、萬景山の頂上、舊觀察衙門を其儘に應用したるものにて、丹桂靑棟、古雅愛すべき樓門を潛れば巨欅散立、眼下矗石樓を眺め、南江の大流雨眸に入る、對岸の竹林は、京城より來る人の目を喜ばす。警務部は道廳の山下にあり。兩所訪問、漸くにして宿に歸れば、舊知二三の來訪に會ひ、新談舊語、更に晉州に關する多くを得たり。茲に北境義州より、南盡晉州に至り、北車南船、豫程の行を了へ、所要を終りて、歸路に就く。歸路は晉州より馬山迄、十八里餘を、自動車に賃せんとす。早起宿を辭し、江を越ねて、自動車發車場に至る、同鄕の舊友北川君に送られて、惜しき晉州に分れ、車上飛ぶが如し。此の日四溫に入りたりとて、寒威前日の如からず。平野を過ぎ山路に入る。行けども〳〵山ならざるなく、運轉手君數々車を止めて、車體の檢査を行ふ。其度毎に、乘合の連中、或は故障ならざらんかを思ひ、常に變色あるも笑止なり。然ども人家はもとより往來人さへなき山中に於て、若し車體に故障あらんか、恰も無人島に流されたも同じければ、其の心配も決して、笑止にあらざる也。途中尙ほ今夏洪水の、慘狀を留め橋梁の如きは、流失し居らざるは無く甚敷に至つては、石造の橋梁迄が、無慘にも、流失し居たるに見るも、如何に洪水の、猛烈なりしかを知るに足る、行く〳〵五六の村邑を過ぐ、行人稍々多きを加へ、而して其れ等の多くが、巨大なる白き風呂敷包を、重た氣に脊負ふを見る、何れも自作の棉花を市に鬻がんが爲なりと。五時間餘を費して、漸く馬山に著す。途中唯特記すべきは、山又山と云はんのみ。

木浦

▲客月木浦驛狀況　十一月中の當驛營業成績を聞くに乘客四千七百〇二人降客四千百七十三人合計八千八百七十五人にして前月に比し五百十七人を增加し貨物は發送千三百十五噸到著九百五十三噸にして前月に比し發送百九十噸到著七十三噸を增加し客車收入三千五百三十一圓貨車收入三千七百十四圓にして前月に比し千〇一圓の增加なりと▲棉花回著不振　十一月廿五日迄に木浦に廻著したる陸地棉は百三十九萬四千餘斤にして前年同期に比すれば殆んど五分の一に過ぎずと▲棉業會社引繼終了　朝鮮棉業會社の對日本棉花會社との引繼は十二月一日現在を以て朝鮮棉業支店に於て中村日本棉花支配人浦上朝鮮棉業支店長立會の上帳簿其他一切の授受を終了せり▲府尹歸廳　本府尹は二日夜歸廳せり

鎭海

▲將校及び相當官轉任　鎭海要港部軍醫長海軍軍醫大監加藤安吉氏は佐世保鎭守府病院第一部長に昇進し其後任は軍艦榛名軍醫長たりし軍醫中監光永常次郎氏任命せられたり又今回の大移動に關聯して轉任其他の任命を見たるは阿部少佐は待命となり勝大軍醫は軍艦軍醫長は鈴木機關中尉は海軍普通科學生に大芦大尉は待命となり高田少佐は軍艦安蘇分隊長に谷池大尉は橫須賀海兵團分隊長に佐久間大尉は佐世保鎭守府附に江口大尉は千早水雷艇長に小倉大尉は十四艇隊長に相馬中尉は軍艦最上乘組に戶出中尉は佐世保海兵團附に轉任し其等の後任として新高副長たりし日高少佐甲種學生たりし富谷大軍醫普通科學生近藤機關中尉高砂分隊長丹下大尉朝霧艦長廣岡大尉曙艦長渡邊大尉橫須賀防備隊分隊長吉田大尉榊乘組北條大尉鶴防備隊分隊長石橋大尉朝霧乘組原大尉普通科學生中野中尉同近藤中尉の諸氏夫々來任の筈なるが新任地へ向け出發並に著任の期日は尙ほ未詳なりと

人事消息

▲田中新吾氏（三田尻試驗所長）四日朝入京天眞樓へ▲佐藤陽太郎氏（大邱農學校長）三日夜入京不知火へ▲高山徵氏（平壤農學校長）▲福島百藏氏（滿州農學校長）▲木村茂一氏（裡里農學校長）▲井上政平氏（安州農學校長）▲天草藤太郎氏（群山農學校長）▲野村盛之助氏（春川農學校長）四日朝入京▲神田長平氏（公州憲兵隊中佐）▲次田的二郎氏（咸北慶源憲兵分隊長）四日朝入京浦尾へ▲浦上格氏（棉業會社員）同上▲井上陽一氏（朝鮮水產會社咸南支部長）同上▲三原新三氏（木浦技師）四日朝退京▲岸秀次氏（大邱技師）四日午後退京▲朝比奈信太郎氏（貿易商）三日朝退京▲加茂熊二氏（小野田セメント社員）同上▲坂本事道氏（旅順兵分隊長）同上

共保生命保險株式會社

第廿二回決算報告

一創立　明治卅八年四月
一資本金　壹百萬圓
一諸準備積立金　五百六拾七萬參千
一保險契約高　貳百貳拾壹萬圓餘
一創業以來支拂ヒタル保險金　參千九百八萬七千

貸借對照表

資產	圓	
未拂込株金	七五〇、〇〇〇	〇〇〇
現金	七、四九四	八五二
郵便振替貯金	三四、一八九	九一三
銀行預金	二、一二八、〇八八	一四〇
貸付金	四八六、四三一	〇三三
有價證券	二、六九三、四一五	四〇〇
社員身元保證證券	三二〇	〇〇〇
金代用證券		
不動產	四〇四、一五一	七六八
什器	五、五一〇	〇一六
未收利息	一五、四七一	六八〇
未收保險料	一七二、三五〇	二五一
代理店貸	五二、九〇〇	〇三九
假拂金	三〇、九八九	五八八
合計	六、七八一、三八八	六八〇

負債	圓	
株金	一、〇〇〇、〇〇〇	〇〇〇
法定準備金	四四、六〇〇	〇〇〇
責任準備金	五、三五二、二五一	一九四
保險契約利益	一八〇、三七五	五三四
配當準備金		
支拂備金	七五、九九四	七四八
恩給基金積立金	二〇、〇〇〇	〇〇〇
保險契約利益		
配當未拂金	一、七四二	六〇九
株主未拂配當金	五六四	三七五
社員身元保證金	四一、三二九	三一九
假受金	三、七〇五	一六六
利益金	六〇、八二五	七三五
合計	六、七八一、三八八	六八〇

損益計算書

本年度總收入金　六百九拾四萬六千貳百四拾七圓四拾六錢貳厘
本年度總支出金　六百八拾八萬五千四百貳拾壹圓七拾貳錢七厘
差引利益金　六萬八百貳拾五圓七拾參錢五厘

之ヲ處分スルコト左ノ如シ
法定準備金　參千壹百圓
株主配當金　貳萬圓（年八朱ノ割）
恩給基金積立金　五千圓
役員賞與金　壹萬六千參百圓
次年度へ繰越金　壹萬六千四百貳拾五圓七拾參錢五厘

大正五年拾壹月

取締役社長　堀　貞
取締役　伊藤忠三
同　原彌兵衛
同　阿部彥太郎
同　小西新右衛門
同　青柳一太郎
監查役　生嶋嘉藏
同　山口　隆

追テ取締役伊藤忠三、原彌兵衛、小西新右衛門、青柳一太郎各任期滿了（取締役阿部彥太郎辭任）監查役生嶋嘉藏任期滿了ニ付改選ノ結果左ノ通當選シ且ツ取締役會ニ於テ久原房之助氏ヲ顧問ニ推薦承諾セラル

顧問　久原房之助
取締役社長　堀　貞
取締役（新任）　松下文太郎
同（同）　岡部菊太郎
同（同）　山口　隆
同（同）　田中小市郎
監查役　生嶋嘉藏
同（新任）　伊藤長次郎
同（同）　貝嶋太市

○高給外務員採用ス
希望ノ向ハ履歷書ニ戶籍謄本添付シ其最寄支店出張所又ハ本社へ申出ラレタシ

第四皇子澄宮殿下＝最近の御撮影

御智慧の早さ 驚かるゝ御健かさ

第一回御誕辰を祝せ給ひし 第四皇子澄宮殿下

二日第一回の御誕辰を御祝ひ遊ばされたる第四皇子澄宮殿下の御生活に關し御養育係長田内三吉氏は謹んで語るやう畏くも殿下には御降誕後滿一年の間頗る御頑健に在しまし本年二月葉山で輕微なお風邪を召されたる外は

■一回も醫藥を進め參らせることなく

近來は益々御機嫌麗しく御體量も二貫七百廿匁に餘り御起居は至つて御靜かにて絶ねて御むづからせ給ふ事なく御乳人は去る七月限り御暇になり爾來專ら御食事を御攝取遊ばされ朝、晝、夕三度に牛乳スープ、卵黄の御雑炊若くは御粥、副食物は淡白なる少量の魚肉と蔬菜を召上り間食は極めて輕き洋菓子を採らせられ快晴の日には朝夕侍女が御抱き參らせ又は姆母など御苑の內を御運動遊ばされ池の金魚や鯉などに御目を止めさせられ或は鳩に興がらせらる、參內は一週一二回にての時は

■東宮、兩兄宮とも御對顔遊ばさる

ることゝなり居れり毎朝五六時の間に御眼覺めあり、正午過ぎ御晝寢を取られて夕刻は又五六時の間に御寢遊ばさる普通最強健の嬰兒でも十三時間の睡眠時間が關の山なるに殿下は平均十四時間の睡眠を取らせらるゝ之れを以ても振强の御健康狀態なることを拜察するを得可し從つて御發育も御迅速にて昨今は御匍這の間々に御立ちになり或は物を頼りに「チョコ／＼」お御足を運ばせ給ふお可愛らしさ、天氣の好き日には奉仕出仕、判任出仕各二人の侍女が御抱き參らせて

■御苑の內を逍遙し清潔な外氣に

お當て申すやうにせり御智慧開きのお早きことも只々恐懼の外は無く其一例として『キー坊ア』と申上げれば圖らなお瞳を木澤出仕の面に向けさせらるゝ有樣にてお側に奉仕の者をお畏くも御識別遊ばされ又は御手遊びの手風琴を掻き據にブウ／＼と奏で參らしても更に御氣乘りの御樣子はお見受け致されで之に反し節面白く一定の譜を鳴らせば御感に堪へたる御樣子にて何時までも柔順しく聞き惚らせ給ひ總じて鷹揚閑雅な御氣質に在らせられ世の常の子供のやうに御むづかり遊ばし又は人見知りを遊ばしたりなさることなく自然に

■備はる御懿徳のほど感佩の外なく

平生の御召物は木綿の御肌衣、フランネルの御下着に羽二重綿入などの御著衣にて一切純白なる神々しい御風裝なるが二日の御參內には金紗に菊の御紋章を繍したる白羽二重の御衣をお著け遊ばされたり

南山の天滿宮

嚴かなる遷宮式

去月三十日上棟祭を執行したる京城神社攝社南山天滿宮は其後工事も大部分竣成したるを以て五日午後二時嚴かに遷宮祭を執行したるが定刻前に神社大總代天滿宮建築委員等參集の上社務所內假神壇前に於て御神座祭典を執行し午後二時になるや〔…〕道筋を被ひ蹕と共に御動座大麻〔…〕祭員の捧持する行障絹垣に圍繞せられたる裡に谷村齋主は神儀を奉じて徐歩し伶人數員途中道樂を奏して豫定の順路を天滿宮社殿へ進行大惣代建築委員其他奉送の上御社殿に到著するや兼て淨められたる御神殿に齋主神儀を奉安し畢りて所定の座に著き崇嚴なる奏樂の裡に祭員數名の神饌を献すれば齋主進むで諸員最敬禮の裡に遷宮祭の祝詞を奉奏し玉串を奉奠し祭員一同列拜し參列諸員順次玉串を奉奠し社前に於て神酒神饌を拜戴して退下し祭典を畢りたり

弔旗、艦橋に垂れて

故蔡將軍の靈柩上海に向ふ 長崎灣頭、七發の弔砲悲し

故蔡□軍の遺骸は去る二日午前十時長崎驛構內の靈柩車より汽船新銘丸に移乘する事となり最も莊重に靈柩搭載の式を行ひたり是より先支那領事其他關係者一同は長崎驛構內に於て

◇移送の準備を整へ

靈柩を四輪車に移乘し定刻十時半同驛を出發したるが靈柩の行列は三十二名の支那軍艦海容乘組の中華海軍儀仗兵を先頭に七十餘旗の弔旗に次で香亭自後に崇德寺、福濟寺及護信寺等の和尚靈輿に次ぎ各方面より寄贈の花環約三十環續いて菊花を以て飾られたる靈柩は

◇重立たる支那官民

數氏の手に依りて曳かれ令弟蔡鍬氏以下遺族一同並に日支官民及支那小學中學及留學生一同約二百名之に續き輓歌の音いと物悲しげに奏せられしづ／＼と長崎驛を出發し電車道を一直線に出島に向ひ末廣町より十八銀行前に出て元川口橋を渡り正金銀行支店横を新地に出で稅關横を經て支那領事館前に出たるが此間沿道には一般の觀衆堵をなし殊に支那領事館及び第四號波止場附近は

◇十重廿重に人垣を

造れり斯くて靈柩は領事館前に來るや暫時停止して設けの祭壇の門前に運び胡長崎領事外重立ちたる領事館員の燒香を終つて再び進行を續け午前十一時三十分第四號波止場に到著すれば稅關旅具檢査所より靈柩を十八人の輿丁の手に依りて運送船三菱の白鷺丸に移し支那小學生約五十名の拜禮あり白鷺丸には潘未亡人令息の蔡鍬氏其他遺族領事一同同乘し儀仗兵は海容艦の端艇に乘じ其他は他の和船に分乘して午前十一時五十分

◇再び悲しき奏樂裡

に發船したるが此間右手に碇泊したる軍艦海容號より七發の弔砲を發し白鷺丸に隨行せる紅白多數の弔旗は麗かに晴れたる長崎灣頭に流れて暗愁の色を示し軈て靈柩船は新銘丸の右舷に横付し靈柩を移乘し船中中央の特別室に安置したる後前記各支那寺和尚の讀經に次ぎ再び燒香式をなしたり而して午後三十分拔錨新銘丸は軍艦海容號の護衛の下に上海へ向け出發したるが稅神戸領事は靈柩に隨行し上海に向へり尚此日長崎在住支那人は各戸に弔旗を揭げて哀悼の意を表したり尚同船は四日午前上海著の豫定なり（門司特信）

依然重態

大山公爵病狀

【三日午後九時發表】大山公爵三日午後の容態は體溫三十七度三分、脈搏百二、呼吸二十六にして變化なし午後九時に於ける容態は著しき變化を示さず重湯、牛乳、スープ、果實汁等合計五百五十瓦を攝取せるが嘔吐は依然止まず百二十四瓦五十を吐出せり食慾更になく附添人の勸めに依りて嚥下せるものにて依然危險の狀態を持續せり（東京特電）

◇冷える病氣に

寒さが嚴しくなつたので皮膚の强いのを自慢にして居た人さへ甚大小の襯衣を著るやうになつたが襯衣の毛織物は感付をひく度がある毛織物を直接肌に著けると溫かには相違ないが吸濕の側に寄るか或は多く歩いて汗が出た時毛穴をふさぐからわるい▲椅子へ腰を掛けて仕事をせねばならぬ女事務員などは同じ運動が足りない爲に所謂冷込の結果種々の病氣に罹るが之を防ぐには兩足の踵を折々互に動かし若し出來る事なら足の乘る位の小さい踏臺を敷いて絶えず足を動かすやうにすれば非常に效能がある

二少年賊を働く

一人は前科者

住所不定前科二犯金奉學（一九）同官玉（二三）の兩名は共謀し九月三日午前三時頃京城黃金町二丁目金三善方に忍び込み現金及び理髮機械外六點（十九圓餘）を竊取したるを手初めに十一月十八日迄に京城市中黃金町各丁目、明治町、南大門通各通、清進洞、瑞麟洞、鍾路通各丁目、太平町、舟橋町、笠井町、康珠洞等の內鮮人宅に忍び込み前後二十九回に亙り衣類雜品數百點此價格約三百五十圓を竊取し前科二犯金巨福（二八）が贓品の處分を受持ちて贓物は常に空家又は城壁の破れ目等に埋匿し置き高陽郡往十里曹與山（三五）竹添町三丁目金大福同町金元八（二〇）の兩名が情を知りて之を故買し何れも鍾路署に檢擧されたり

馬賊來襲

奉天市街の慘事 露西亞人の被害

三日午後九時半奉天東十二區第二十九號地の某露西亞人方に馬賊闖入せり支那人ボーイ馬賊二名を取押へ直ちに警務署に引致されたるが之が爲め主人露西亞人外一名の露人頭部に負傷しボーイ及び馬賊も共に輕傷を受けたり負傷者は孰れも輕傷なりしも出血多かりし爲め屋內道路に血痕飛散し慘狀を極めたり時刻早かりし爲め人山を築き人心恟々たり被害少し（奉天特電）

今日も入隊式

武夫の譽、誇らかに 聯隊旗燦たる前に肅たり新千城

聯隊創設後始めての新兵を收容して四日は四日の四日午前十時から龍山步兵第七十八聯隊ではその入隊式を行つた、蓋し朝鮮に於ける

■最初の入隊式

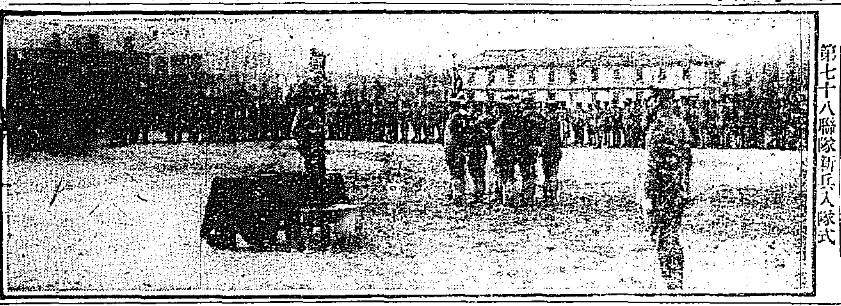
なのである、九時半武裝した聯隊全員千五百餘名は各中隊長引率の下に聯隊正面横臺に集合、二年兵を前に初年兵を後として横隊を造つて整列すれば、中村聯隊附中佐の指揮で全員最敬禮の裡に軍旗を迎へ、喇叭の音靜かなる冬の大氣を破つて響き渡る

■喇叭の吹奏裡

に卒六名に捧げられた軍旗の營庭を射る煕々たる小春日に映ねて所定位置に復せば吉村週番大尉初年兵八百名を指揮して軍旗を取巻いて一方開きの角形を作り不動の姿勢を執り池內聯隊長は其の中央なる設けの壇上に昇り恭々しく先帝陛下より軍隊に賜はつた勅諭を奉讀、續いて今上陛下の

■軍隊勅語奉讀

し終れば更に聯隊長は一場の訓示を與へ、のち現役兵松野波雄以下八百名の入隊を宣告し號令一下再び元の横隊と爲つて軍旗を奉送し全く式を終つたのは十時二十五分であつた



第七十八聯隊新兵入隊式

歳暮の景氣

■質屋は■概ね閑散

＝入質が尠い＝

▼原因は懷が暖かい爲か

『質屋の歳暮は皆目アキマヘン、これまでの例によれば十一月は兎も角もモウ師走の月の聲をきいて店頭はお客樣で大賑はひでした、それに今年は鼠が出相な閑散ぶり、これでは質屋はあがつたりです……』とは昨今京城の質屋さんを通じての嘆聲である、殊に

▼京城の質屋

の錚々たる南山町の中村、明治町の南あたりが一樣にこぼすところを見ると歳暮の質屋は駄目らしい、南山町女學校下の中村主人の語るところによると昨年は共進會の影響もあつたが概して質物の出入が頻繁で何處の店も相當な成績を擧げたのであつた、然るに今年は十一月から閑散で一向入質が無く、お客は典物を受け出すばかりである、自分の店なども京城で一番よいつもりで居るがそれでも昨年に比較すると取引が

▼約七八百口

も減少した原因は昨今戰爭の影響により織物類の騰貴した爲め質物が無いのかとも思はれるがしかし其の大原因は各階級の人々に懷中が溫まつた所爲であると觀察して居ます、現時歐洲大戰亂の影響は特に內地の人々に僥倖して居るやうですけれども間接に朝鮮の財界に及ぼしたところも決して尠くはありません――此の向きですとわれ／＼の商賣は駄目になります殊に萬といふ聲に屆けば兎に角それ以下の貸出しでは到底おやじが座り込むで働らく商賣ではございませんとのこと

灯ともごろ

▲新劵の藝妓で日記を神妙につけて居るのがある京城を去る時に發表して一問題起すつもりだとのことだがその中には客の名を『稻荷鮨さん』とか『卷鮨さん』とか『畑德利さん』とか符調でつけてあるさうな▲五日の朝南大門驛に職工らしいのが二人立つて『寒暖計に右と左に度盛りをしてあるがあれは何ういふ理屈だらう』『あれかあれは右の方の華氏の方は夏見るので左の方のは冬見るのだ▲これは一寸滑稽だが多くの人は左樣思つてゐるらしい測候所でも多は華氏で二十何度といふと攝氏で氷點下十何度といふ如何にも寒さうだ▲その攝氏で五十何度など云はず華氏の九十何度と云ふと如何にも暑さうに聞ねる

讀者文藝（一等には五十錢の御切手を呈す）

▲俗謠「火鉢」

▲古道具屋の煤けた火鉢節操りと得意顏　京城　月汀生

▲火鉢引よせ片手は釉にくねへぎせるの物思　京城　澤市

▲火鉢なりに寢した手と手まじるもみぢの愛らしさ　森川　圭稅

▲熱い居先火鉢を抱いて縮みながらに客を待つ　釜山　めじろ生

▲時雨ろ日を主人の居間に午後の踊りを待つ火鉢　京城　東海

▲右に針箱左に火鉢嫁になる娘の晴衣縫ふ　義州　松月

■一等なし

◎釜山の麥酒戰　釜山に於ける日本、帝國兩麥酒販賣店は數日來〔…〕府の大販賣戰を見るに至る〔…〕

▲懸賞文　風邪から〔…〕

■釜山風聲報（十二月四日午前十時三十分發〔…〕）

二萬二千四百名　小島頼太郎、山田良夫、井上惠三郎、福住廣、陳持泰三、山口つる、中司鶴〔…〕く、楊捷丑之助、畑中政助、西塚市松、湊部正次郎、片岡米太郎、遠藤要次郎、團澤とき、村山な〔…〕市川〔…〕

（讀者文藝）課題及募集規程

■募集規程　▲用紙は端書又は型同の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲〔…〕

天氣　曇り 雨雪 但少晴れ　▲十二月五日〔…〕

營業品目

帽子　カラー　ネクタイ　メリヤス　手袋　靴下　ショール　化粧品　毛布　膝掛

東京 塚谷出張店

京城本町　電話一三六番

京城旭町一丁目　內科小兒科　入院隨意（普通病室並に隔離病室）　小林醫院　醫學士 小林千壽　電話六九二番

期米　機密通信社仁川支局　仁川米豆取引所前

鑛山用 測量製圖器械　時計眼鏡貴金屬品　玉屋商店　東京銀座三丁目　電話京橋（長）三〇五 三〇〇六 三〇〇七　振替東京 四四八八

陶器荷着廣告　各縣產地直取引

高等御旅館。料亭向。並に歳暮年始。御物進用品。建築材料品。肥前燒各種。信樂燒

○尺より尺八寸まで瓶掛色々
○遠隔の地よりの御注文は本月十五日迄の內御注文願上御差圖に隨ひ格好見膳ひ差上可申候
○代金は荷爲替付或は弊店振替口座にて御送金被下候得者運送の便利を計ひ迅速發送可仕候

京城本町一丁目　陶榮商店　振替口座京城參弐番

◇新しい五圓紙幣
十二月十五日から發行

寺内大藏大臣は一日の官報を以て明治十七年第十八號布告兌換銀行券條例に依り日本銀行から兌換券の内五圓券を改造し來る十二月十五日から發行する事を告示した

◇右に付日本銀行員は語る『新發行の五圓券は竪二寸四分三厘横四寸三分一厘で從來の五圓紙幣よりは稍や一廻り小さい、從つて携帶にも便利であり、且つ紙質は印刷局特製の堅牢な紙質である、其の特徴は全面に亙つて網目の透しを入れた事である

◇表面の地模様は緑色暗紫色褐色の三種を巧に配合した者であるから取扱ひ上汚染の防止が出來る、而して表面の右方には武内大臣の肖像左方には同大臣を祀れる宇倍神社の社殿を現はしたるものである

◇又裏面の地模様は淡紫色で中央には暗栗色で五圓の二字を大文字で現はして居る即ち新券の特色は汚染並に損傷を防ぎ併せて僞造防止の技巧も加へてあるので來る十五日から日本銀行本支店から發行する筈である

◇目下流通しつゝある五圓紙幣は約一億四五千萬圓とあるが新券の發行と同時に從來發行されて居た五種の五圓紙幣は順次廻收される筈である

◇冬と歯の衛生
始終清潔にせよ

▣歯の痛みで惱む人は隨分澤山ありますが、齲歯の痛み等は普通の藥では中々直りません、其は齲歯と云つても極初期の頃なら兎も角今日の歯の狀態に依つて治療の法も違ふのですから從つて附ける藥も違ふと云ふ樣なものです

▣要は歯を始終清潔にして置く事ですが毎朝歯磨を使ふとした處で中々完全には出來ぬもので一々專門家にでも遣つて貰ふより仕方が無いのです其れ故齲歯は何うしても避けられぬと覺悟せねばなりません

▣智歯 一名親不知歯と云ふのは大抵十七八歳から三十歳位迄に生ゑるのですが稀に四十歳位で生ゑる人もあり年を老る程顎の骨が發達して生ゑ難い結果隨分痛みを感じ又周圍の肉が腫れ上ります憊麼時は直ぐ醫者に驅付けねば不可ません

▣西洋人には智歯は完全に生ゑる人が少ないので智歯の生ゑる爲めに痛む等と云ふのは日本人丈でせう、往昔の人間は皆歯が三十二枚と云ふて智歯があつたもので文明になる程智歯が生ゑなく成つたので是から云ふと日本人は未だ〳〵文明人で無いのでせう

▣其が證據には動物の歯は皆人間よりも多く又人間と猿の中間の動物等は前歯が今の人間よりも一二枚多かつたりして居ます是は今の人間にも稀に見る處で其他智歯が四枚どころかもつと澤山生ゑる人があり是等は醫者の方では過剰歯と唱へて居ます

▣今日歯の學問の發達して居るのは矢張り獨逸で亞米利加は實地の上に一寸傑れて居ます日本は此の兩方を取り入れて居るのですから今日では餘程發達して來て居ます

▣兎も角歯の痛みが心配なら成るべく歯を清潔にする樣心懸けて殊に齲歯の人は絶わず食後の含嗽を忘れてはなりません

◆新しい鯛のお料理

鯛は日本料理、西洋料理にも用ゐられて居るが、一方は三杯酢に刻み生姜、一方はフライと相場が極つて居るのは、聊か智惠がなさ過ぎるやうだ、次の三四種を紹介すると

▲酢鯛● 酢一杯に三分の一醤油、極少量の砂糖を交せ合せ箆で揉み水洗ひした鯛を暫く浸し皿に盛りて後大根下し生姜下し及びきくらげ(赤大根、胡瓜でも)を刻んで、上にのせて橙の絞り汁をかけるのである

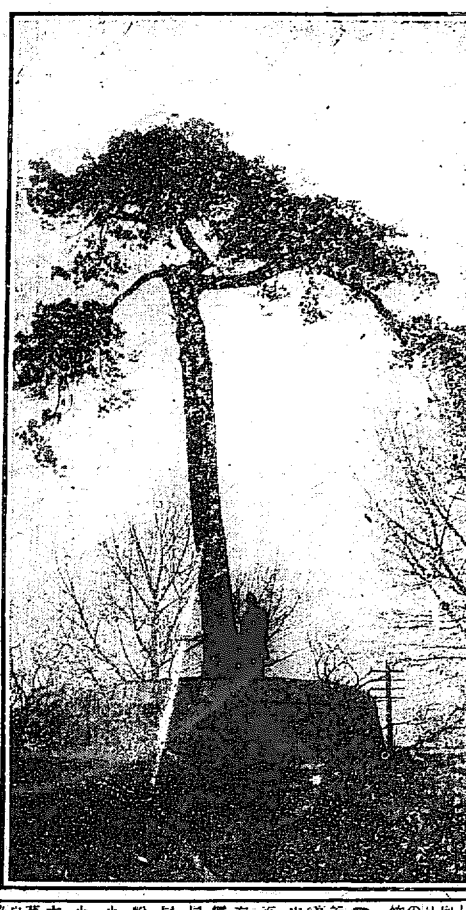
▲卵の花鯛● 鍋に油を引き湯煮した鯛と刻んだ椎茸を入れ醤油、味淋、砂糖で味加減を爲し、からと苧の實を入れていり上げる、苧の實が生ならば椎茸と共に始めから入れる、刻んだ紅生姜をふりかけて出す、鯛を湯煮するには水で洗つて鯛を鍋に入れて、鹽二つまみほど入れて火にかけると、鯛から澤山の水が出るのである。

◎海苔巻き● 鹽湯煮した鯛を三杯酢に五分ほど浸しよく絞つて擴げた海苔の上に並べ茹でた三つ葉を二三本と刻んだ紅生姜及び下した山葵と共に巻き、一寸位に切つて盛る。

◎フライ● メリケン粉に卵、だし汁、醤油、味淋、砂糖を交せ合せ湯煮して水切つた鯛を入れて胡麻油で揚げる、つけ醤油は大根下しにだし汁少量と醤油を交せ合はすのである。

◇京城名所「倭松樹」

倭松樹は京城西大門の培材學堂構内に在る大きな松の樹である、松は文祿の役に加藤清正公が陣を布いたあとにあるので此の名がある、序に培材學堂はハリス監督が朝鮮で劈頭第一に總督府學制によつた鮮人の宗教學校で大漢門側の道から土地調査局正門前に相對したところにある、此の松は數年前學校の運動場擴張當時其の仲間四五株が伐られたけれども一株だけは韓國軍事顧問野津中佐の盡力で取りのこされたのである——種類はシダーの一種で京城名物の一つであらう



神社とお寺と教會

◎故鈴村氏葬儀 故總督府囑託鈴村文六氏の葬儀は五日午後四時半大和町一丁目三三東洋協會專門學校入口の自邸を出棺、途中行列を整し大和町若草町京城日報社跡にて神式に依り執行の筈となれり

◎高田穎哉老師歸京 曩て内地歸國中の老師は二日朝歸京せり

◎西本願寺(若草町) 四日午後七時より月例法座あり

◎曹洞宗別院(若草町) 五日午後七時より逮夜忌の說教あり

◎天理教會朝鮮布教管理所(古市町) 五日午後七時より遷座祭を行ふ筈

商況

東京公債直取引(持合)

一日出値段(前日との比較)

五分利	九七、一〇
四分利(甲號)	八二、四〇
五分(二回、一回)	九七、〇〇

深川在米特電

二日現在高 朝鮮米 [illegible] 内地米 [illegible]

	一三七
	一四六
	一二八
	三六四

東京期米特電

二日前場

	當限	中限	先限
寄付			
高値			
安値			
止め			

(二月限 八四九、八六〇、八四六、八六〇)

大阪期米特電

四日前場

當限寄付	一七、三八
中限寄付	一七、一四
先限寄付	一八、二三

下關期米特電

四日前場 晴

	當限	中限	先限
寄付	一六、六〇	一七、二五	一七、八九
高値	一六、六〇	一七、二五	一八、〇三
安値	一六、六〇	一七、二三	一七、八六
止め	一七、六七	一七、二四	一七、九一

雜報

●亞鉛板高氣構へ

亞鉛板は其後持合の裡にし底意は中々強硬なるものあり一部當業者の說によれば現今の内地相場は大阪にて平板一圓九十錢なるに東京一圓九十五錢を唱へられ多少の値鞘を附し居れるが現下の鐵板及び亞鉛價よりする時は東京相場の頗ならるやに思考せらるれば割安の大阪相場が早晩東京相場に鞘引せらるゝものとせば當地も現在値より尚七八錢方の昻騰を來すべき餘地あり今後果して探算通りの成行を見るや否やは測り知るべからざるも多少相場の引締めは避け難かるべきかと

腸るべき餘地

●石油は好調

自働車用揮發油は内地の漁場方面より多少の需要加はりたれば特に繁數ある程度まで更に從油を慮ふるに之れ人氣強く當價には非ざるかと愚考し見るの高値は需要の喚起以て漸く多數を開始せるの現状より察するに石油車の不足する事なれば價値は昂騰の途にあるもの[illegible]べし

●鐵板類内地高(付落)

鐵板の商情にわりし内地洋鐵界は英國の禁出にて注文悉く米國に向ひしを以て同國にては市況頓に强腰を告げたるより内地品は逆輸を告げ市場は品薄と需要の喚起とにて薄物類は各品を通じ五十錢乃至一圓五十錢方昻騰し厚物し之れに附隨して多少値段上向き合板類は當需弗々現はれしにより五十錢方上進せり鉄筆類は殆の商狀附活潑なれど其他は概して落竹きの風情なり

●釜山穀物市況

釜山穀物市場十一月中米穀買出來高及び平均相場概況左の如し

品目	出來高	最高	最低
中白米	五、六四六個	四四五	二六〇
玄米	八七、八二三	四〇〇	一一〇
右之内日本種			
備上白米	二四	二二〇〇	四二〇
同中白米	二〇	二二〇	六二〇
同玄米	七二	五二五	三〇五
粉米	二九	二〇〇	七二〇
小麥	三四四	五五〇	三五〇
小豆	二三六	九〇五	七五五
大豆	一三八〇〇	六〇〇	九五〇
荏子	二三	三九〇	八五〇
白胡麻	二一二	三〇〇	九三〇
緑豆	二七	七六〇	二六〇

合計十萬八千二百四十五個なるが前月六萬一千二百六十個に比すれば四萬六千九百八十六個の増加を呈したるが當月は一般遞著の多數あるにつれ月初より中旬に於ける滿鐵輸品精米往文殺出が盛況を示し中旬以後は

仁川現物市場

△籾入津昨今八九千俵
△正米入津五六百叺
△氣配は人氣を唱へ居れり
△大豆入津千五六百叺
氣配保合

釜山穀市場 三日

▲正米(十錢高) 前日十五八錢安なりし處本邦期米界は昨日株式反撥せし爲め又々買氣旺盛となり各地とも暴騰せし爲め當市場賣行物は相應堅調なれども持米筋も期米高を氣構へ容易に附値に應ぜず賣行頗る强硬にして買人も別段買ひ進んとにもあらざれども庭隙口へ餘儀なく呼び直にて買ひ入れる狀態なれば相場は自然手堅く十錢高を告げたり
▲大豆 一寸不況を呈し買人氣なく氣配は十錢安なり
出來高三千九百六十九個
内中白米 八十一個
内玄米 三千五百〇九個
内大豆 三百七十九個

仁川期米

▲四日前場

△兵庫前寄十八圓〇四錢 大阪天候晴
天前寄十八圓十三錢と一昨止より一錢安の入電二節十九錢と高移りにて當地當十二月五十錢八十七錢と叩きたるも買物顯はれ而して九十錢と跳ね返し九十四錢と仰

田中合名

仁川米豆取引所仲買人 電話二六二・一五二・二八

京城正米

▲三日分

烏山玄米	二〇六叺	平澤玄米	六七叺
烏山玄米	五一叺	水原玄米	九八叺
烏致院白	二七叺	天安白米	二七叺
烏山白米	一〇六叺	平澤玄米	四〇叺
仁川玄米	二五〇叺	水原玄米	六〇叺
天安玄米	七〇叺	宮平籾	一三八叺
平澤糯	五四叺	仁川白米	五四叺
一山籾	二六叺	金義白米	七二叺
一山白米	一〇二叺	金義白米	二六叺
軍浦場白	一八叺		

▲四日分

平澤玄米	二六叺	烏山白米	九三叺
南浦糯	六九叺	天安玄米	八四叺
烏山白米	一二叺	平澤白米	三九叺

南大門の廻穀

白米移出口は續いて注文來るも例の輸送困難にて無暗に引受け難く此の期米高及び先行き高勝へに拘はらず氣配は依然ボンヤリの姿なり

まるにち 仲買店

仁川米豆取引所仲買人 電話二八二番・二八三番

●糯粟暴騰す

一時十圓内外にて當且つ望み捗々しからざりし糯粟は昨今糯高に連れ漸次氣配を高めつゝ今や唱へは十四圓以上となれり

●五六圓方の昻騰

●銅眞鍮板續騰 銅眞鍮板は過般弈騰を告げし後更に强硬の成行きを呈し最近大阪よりは共に五六圓方の昻騰を報じ來り當地も徐々相場を引締めんかの傾向なり

一般内地の正米筋に活氣を呈せしを以て漸次市場の强氣配と玄米移出注文入込みたる結果に因れり而して市價に於ては上下旬は高況にして中旬には强氣配に小だるみを見たれ共前月に比し平均價一圓以上の高價を呈せるは一般市況の活氣附きたる結果といふべし
▲大豆は前月に比し二千個以上の減退せるは産地よりの搬出少なき結果に因る又市價に於て一圓以上との翠價を示せるは之れ支那銀貨相場の好況につれたる自然の原因なりと云ふ

大五仲買店

仁川米豆取引所仲買人 海岸町三丁目 電話三〇九番長九一二番

付大阪三節二十五錢高に寄

一歩九錢と伸びたるも賣物多く五錢と押したるが大阪の五節十九錢と三錢と更に新高値を報じたるより買物多く無碍にも上伸せしが利喰に新規に賣物多くは其後十錢丁度と更に新高値に叩きたるも更に買物顯れたるが小安き移りに〇七錢と伸び悩みの裡に强硬の成行を示して散會

▲四日前場⊖十二圓五十錢出來高十石

▲中限⊖十二圓九十九錢八錢七錢九十錢平均値段九十一錢三	

⊝九十錢二錢二錢三錢五錢六錢四錢七錢八錢九錢平均値段九十錢九錢八錢七錢⊝九十八錢八錢七錢八錢九錢出來高二萬三千六百石
▲先限⊖十三圓〆八錢九錢八錢七錢八錢七錢六錢五錢六錢五錢⊝〆七錢八錢九錢十錢〆九錢十錢〆九錢十錢〆九錢八錢七錢八錢七錢〆九錢八錢七錢八錢

市場雰囲

▲更に新高値 天候 天一昨

後場伸び悩みたるも今朝大阪の變らざる入電は高騰を受けて十三圓〇八錢と寄付九錢と擔げたるも〇⑦⑧全其他より利喰に新規に賣物多く⑦⑥其他より崩れて〇七錢を押したるも當地は例の强硬の成行を告げたり

更に十錢丁度と新高値に上伸したるが大阪の小安し八錢と敷合を報じたり市況は大阪

仁川米豆取引所仲買人 新米格上げ

▲大に賣る

▲大に賣る
▲⑦ 同店前場は大に賣る 當店より一萬千餘石を買ひ五千餘石の賣あり賣りたるの事にて市場の注目を惹いたり

關係なるが在外伸び悩みたるの成行や果して如何

▲二月限九十錢を附

▲千大に賣る
▲⑦ 同店前場は大に賣る 玉數九千餘石に上りたるとの事一面四千石の賣ありたるも大に市場の注目を惹いたり

▲今能く賣る
▲今の同店前場は能く賣りたる玉數七千餘石に上りたりとの事にて釜市場の注目を惹いたり

▲⑰大に買ふ
玉數一萬三千餘石に上り一面三千餘石の賣ありたるも大に市場の注目を惹いたり

▲巴大に買ふ
前場同店より買ひたる玉數九千餘石に上りたりとの事一面二千餘石の賣ありたるも大に市場の注目を惹いたり

三巳仲買店

仁川米豆取引所仲買人 海岸町三丁目 電話二三〇・三一二番

▲全能く買ふ
前場同店より買ひたる玉數六千餘石に上りたりとの事一面四千石の賣ありたるも市場の注目を惹いたり

▲⑨能く買ふ
前場同店より買ひたる玉數四千餘石に上りたりとの事一面二千餘石の賣ありたるも市場の注目を惹いたり

▲⑦の大商内
前場同店より賣りたる玉數九千餘石に上り買ひたる大に市場の注目を惹いたりとの事

▲⑪の大商内
前場同店より買ひたる玉數二千餘石に上りたりとの事一面三千餘石の賣ありたるも市場の注目を惹いたり

▲⊕の商内
前場同店より賣りたる玉數二千餘石買ひたる玉數千餘石に上りたりとの事

▲⑫の商内
前場同店より賣りたる玉數小二千餘石に上りたりとの事

▲⑦の商内
前場同店より賣りたる玉數小二千石に上りたりとの事

▲中限變動す
今前場中限線には十二圓九十九錢と寄付たるが賣物顯はれ忽ち八十七錢と叩きたるも反つて割安思ひの買物を呼び再び九十九錢と跳ね返し四錢と押し六錢と大變動商狀を演出したり

▲人氣動搖す
新浦發會以來大阪の大變動を報じ居るより連れて當地も人氣大に動搖し硬派の大に買に對して軟派は採算上能く探算を報じたるより如何にせん大阪の益益騰を報じ居るも如何せん人氣は買ひ向ふ居るも相伴つて相場の變動を惹起したり

賣向採算上能く

今市場は立會毎に股賑を呈し居れり今朝の大阪電報は日に新高値を報じ居るが如何にするも當地は是れに追隨し兼ねる處ある高直あるなれば出廻りは益旺盛を極むるより多少滯貨の問題なきにしもあらず

正米は存外割安に

買約定の出來る者あり三日十三圓十錢に新米格九十錢を加算せば則ち十四圓に相當するのである大阪との朝比較は我國の有利なる時期は如何にも五百丁以上の大開きがあれば之れ大阪と比しても恐らく賣買の採算上賣りとは見られぬ者と思はれる現下の九十錢は十三圓十錢に新米格九十錢を加算し直に十四圓の大割高の内地と比較したれは大割高にて新米格は割安敗等を排除せり

内地の大割高

仁川の先限は如何に割安

仁川の先限は如何にも割安である殊に仁川の先限は如何にして居るやの前途必ず上値を暗示して居るやの事と果して何れが的を得たるや

籾買入

京城南米倉町 龍山精米所 電話二二四番

仁川米豆取引所

四日の二月限

寄付	十三圓〆八錢
高値	十三圓十〆八錢
安値	十三圓〆五錢
止め	十三圓二百石
出來高	六萬二千二百石

前場 平均値段

一節	十三圓〆六錢
二節	十三圓〆八錢
三節	十三圓〆九錢
四節	十三圓〆九錢
五節	十三圓〆八錢

北濱だより

銀行の貸出制限と政府の消極的の正貨政策等によりて經濟界に一大恐慌の主力であるかの如き方面の思惑は何ゆ株式界の影響狀況が最も大なる時の死屍の市場を殆ど壓迫したのみか東西市場共に利權的に大いに當らいて株價の下落は殆ど底知れぬ大恐慌の疑ひをうけた新規の買の意向を擧げて見ても今日の株式の反動は從來の賣方の戰意を挫き新規の買物や追證券不納の爲めに東京新株が反落を見せた事に就いても

不況の株の事として致し方なき現象とも云ふべく而して其他の株は月末から一段の買物のみで買物なしといふ現狀にあつて買物をしてやつた丈けに相場にしてもあらぬといふ程の下げ方であつた一體は買物なしとの事ですから相場は依然として二十圓以上も引戻した大體の相場として見ても此の頃は鈍さも相當であつたのみか前場は新株が某店から優勢なる買物が現はれて新甫が中限よりも四十圓切の大納べ二百九十圓に盛れたのも米株が三割配當と弱含みの期待に割を出して三百五十圓と跳れた外は總べて一時的の見れば

であるが事は其節の調査に據るも現在的確なる事實の下に計上し得べきものであつて今後二月頃までには更に四億以上の正貨が増加する筈であるといふのだから如何に銀行が警戒しても無限に押し寄せて來る黄金の力に逆ふ事は出來ないのだから引けば投物が出盡せば此の以上新規に資込む手口をもないのだから此の上は相場が反撥を告げて居るから此頃の東京新株の如きは昨夜よりの六十圓高を示し頗る强硬な大引けを告げたのである當株の新市の如きは寄附きより六十圓高と強硬の大引を告げて居るから眼先人氣は依然として寄附きに於ける商船は猶限的なるを免れぬ

二日後場大引

當月	九一、四〇	郵船	三九五、九〇
鐘紡	二八〇、〇〇	米株	三五二、〇〇
東紡	二三九、九〇	東新	四七五、〇〇
商船	二九〇、一〇	當株	七〇九、九〇

商業登記公告

龍山水産株式會社八大正五年拾壹月拾八日目的ヲ魚菜其他水産物ノ糶賣委託賣買及氷貯藏販賣ト變更シタリ廣業株式會社監査役柳棟秀ハ任期滿了ニ依リ大正五年拾壹月貳拾七日退任シ同日高陽郡龍江面倉前里參四百拾七番地閔衡基監査役ニ當選就任シタリ

右大正五年拾貳月壹日登記

商號新設 商號九日共益商會、營業ノ種類委託販賣貿易商、營業所京城府太平通貳丁目百參番地、商號使用者ノ氏名住所京城府太平通貳丁目百參番地金鄭寅基、京城府雷昌洞百九拾番地

右大正五年拾貳月貳日登記

京城地方法院

壯健なる身体を得るには今直ぐ御使用あれ 品質と價格で大評判 Mゴムマリ 製造元 三田土ゴム製造合名會社 發賣元 大阪唐物町 飯田商店

外皮膚科 科醫院 旭町二丁目(舊三丁目) 醫學士 瀬戸潔 (電話二四九八番) 診察夜九時まで

東京米穀商品取引所仲買人 東京市日本橋區蠣殻町一丁目一番地 ヌ 相馬榮治 電話浪花 長二四六〇 二四六一 二四六二 二三九九 電略(登錄)ヌ(トウケイマタ) 營業案内送呈

新荷著廣告 米國製最新式 スケート 定價表無代進呈 特約店希望は至急申込あれ 京城本町二丁目 篠崎運動具店 電話一三〇三番 振替一四六八番

賣買出來高新記錄

展年は荒るゝとかや實に本年は相場に於て空前の大亂高下を演じ賣買出來高に於ても花見相場時期に於て前代未聞の現象を呈したる次第なるが特に弊店は大方華客諸賢の深厚なる御同情御引立を蒙り去る九月中に於て既に壹百六萬六百石てふ稀有の賣買出來商を擧げしが今又十一月中に於て實に壹百貳拾九萬六千九百石てふ堂島開闢以來の記錄を破の成績を擧げ假りに是の賣買契約價格を通算せば貳千二百餘萬圓と云ふ驚くべき巨額に達す勿論是は此れ大方諸賢の鴻恩と深く感佩罷在候弊店は更にヨリ以上の努力を以て諸賢の御眷愛に辜負せざらん事を期し居り候間此上御引立偏に希上候玆に御禮旁々御報告申上候 拜具

大阪堂島米穀取引所仲買人 合會我一郎商店 電話 北長二四八・二四九番 二三六・二五〇番・二五一番 西宮一八二番(本宅)

◉放賣土地建物大募集 有志數百名の贊助に據る土地建物取引機關也 京城府太平通二丁目七拾八番地
家屋田畓 入札即賣 京城不動産即賣會
土地建物 賣買金融 多田不動産信託所 大同生命保險、神戸火災保險代理店 電話二二一番
土地放賣並に購買者は御利用の上乞御申込を
地價回復スグ賣買成立

福引景品附 歳暮大賣出 十二月五日より三十一日迄 金壹圓毎に景品券一枚呈上 即時店内に於て景品と引換可申候
特等 金屏風 源氏繪 東京製桐洋服箪笥
壹等 張衝立 東京桐單笥 前桑茶棚 宜徳火鉢 金張トランク 石入紫檀机 姿見鏡 瓶掛火鉢
貳等 毛布、醤油一樽(四斗入)、白米(一叺)、桐甲タンス、會席膳、茶棚、鞄
參等 重箱、旅行鞄、吸物椀(十人前)、銀器、水屋
以下拾等迄全部空籤なし
Ⓗ 京城本町一丁目 平田商店 電話六九五番 振替京城一〇八三番

純國産 其他化學工業品 SN 黑色防銹塗料 防腐劑 固着劑 特製 アスファルト ランプブラック メタリン ゴムテール 大オリノ 鐵鋼木材に特効あり 價格低廉 木皮紙 金屬等の保存期限を永からしめ 内國及海外各地に代理店あり、カタロク等無代進呈 東京市芝區新櫻田町十七番地 電話新橋二九四一番 新潟化學工業所 東京出張所

あめ 豫報

宮本武藏

第二百三十五席

桃川如燕口演　浪上義三郎速記

源兵衛喜兵衛の兩人は上になり下になり組合て居るのを、店に居た番頭若者が是を見て、其處へ駈けて參り　番『此の野郎御主人へ手遊ひをしやアがる、不都合な奴だ』と、大勢で喜兵衛をそれへ取て押へポカ〱擲るから喜兵衛は到底敵はないと思つたから大聲を揚げて　喜『人殺し〱』と怒鳴つて居る、スルと此時に門口を通りかゝつたのが市中見廻り役人近藤甚十郎外二人、それヘヅカ〱と上つて參り　甚『コレ靜にいたせ、白晝だと申すに人殺しとは穩ならんこと、如何いたした譯だ』此時やう〱喜兵衛は起上つて　喜『私は此の裏に居りまする日雇の喜兵衛と申します者で、實は斯々云々の次第でございますが、其の如來樣を源兵衛が取上げてしまひ、其の上大勢寄つて集つて私を打擲いたしましたので　甚『それは怪しからんこと』源兵衛『それに相違ないか』源『恐れ入りますが、元々その佛樣は手前の地面内にありましたものですから手前方へ預らうと申したので』喜『恐れながら申し上げますが、それは地面内にあつたには違ひございませんが、築いたし猶臺所一切は新規に建て返したので、是には五六人の證人もございますから何うぞ其者を呼出してお調べを願ひます　甚『イヤ卻々面倒だな、何處に於て取調べる譯には叶はん、追て城内に於て取調べて遣はすから左樣心得て源兵衛喜兵衛の兩人とも城内へ同道いたすから左樣心得ろ』と玆で兩人を引伴れて長岡外記の許へ召伴れて委細を申し上げたから、一先兩人は屋敷へ止へ置きまして翌日係り合一同の者を呼出して、是を長岡外記が取調べるといふことになつた、スルと是を聞いたのが彼の水野曉雲　曉『是は面白いことである、何うであらうお前が調べるなら其時は俺を聽き役として列席をさして貰ひたい』外『それは決して差支はございません、其の席へお直り下され足らぬ處は御助言に預りたい』曉『想ふことは後學の爲だ、二天お前も俺と一緒に其席へ列りなさい』二『有難うございます』翌日になると長岡外記より此の一件係り合の者を殘らず呼出しになりましたから、源兵衛喜兵衛を始めそれに立會た者殘らず罷出まする、正面に長岡外記著席する、前の處に進藤甚十郎其外一兩人控へて居る、右手に曉雲二天の兩人が控へて居りまする、長岡外記は　外『一同の者揃ひましたか』一統『ヘイ』外『コレ喜兵衛、其の方は何ういふ譯で源兵衛の地所を掘て佛像を出したか』喜『左樣でございます私は元來阿彌陀如來が信仰でございまして、朝夕念佛を唱へて居りまする處から近所の者が私を念佛喜兵衛佛喜兵衛といふ位でございます　外『或程』喜『處が或夜のこと彌陀如來が私の枕邊に出現ましましてお夢の告げを蒙りました　外『何に夢を見た』喜『阿彌陀如來がお告げには、長岡屋源兵衛の庭の下に永年我は埋つて居るから掘出して世に出してくれよといふことでございます　外『ウン』喜『それから御近所の衆を頼んで源兵衛方へ話して貰ひ庭を取毀し其の下を掘つて取出しましたのが、島黃金の御佛でございます、それより庭を新規に築いて元の通りに立直して返しましてございますが、直に家へ持つて參り佛壇に供へ信仰いたしました處、近所の者が是を聞いて最も尊き御佛を拜ましてくれろと申して大勢參りました、路次口へ幕を張つたり提灯を出したりいたしましたは近所のものがいたしました、又商人も勝手に出ました譯で手前が觸れ廻つたといふ譯ではございません、其の御佛を源兵衛が故なく取上げてしまつたのでございます』外『源兵衛それに相違ないか』源『ヘエ』外『其の佛像を是へ持て參れ』と取寄せまして島黃金の佛像を手に取上げました

外科一般 皮膚科 泌尿器科 花柳病科
院長 安部修三
京城永樂町二丁目金光教會隣
安部醫院　電話四一九番

□□內科 小兒科
院長 醫學士 森定吉
京城本町三丁目 瓦斯會社向側
芙蓉醫院　電話二六三三番

美術額緣製作所
其他東京式金緣額々
明治町郵便所前　取次電話一五二番
鷲尾商店

十二月六日 九星 舊十一月十二日 丁丑 本命五黃 八方塞 佛滅

[illegible]

あまづアザ ホクロ入墨イボ等の爲め
困難の人はハガキにて照會あれ効力實に偉大なる他に類なき良劑を懇切に詳報す
東京市向島小梅町 平澤茶院

結核專門 古賀病院
[illegible]

長壽藥品は「ヨーグルト」
京城若草町 荒井牛乳販賣部 電話一〇〇四番
「荒井の牛乳」 滋養と健康の母

演藝案内

浪花館　明治町 電話二六〇
新時代の浪花節 吉川今勝一行來る
◎一日より毎夜六時開演 讀物毎夜續き △五郎正宗（吉川都）△韓論所傳（吉川鐵丹）△いかるが平治（浪花錦昇）△慶安陰謀錄（吉川容堂）△義士本傳、美人殺（長講二席 吉川今勝）

有樂館　本町一丁目 電話二六六
[illegible]

御成座　御成町 電話一九一
第三十九回 大和櫻「全十一場」 [illegible]

大正館　櫻井町 電話八七三
十一月廿九日より引續き特別大興行 [illegible]

黃金館　電話一八五二（階上）二六三七（階下）
[illegible]

たんをきりせきをしづめ
龍角散
ぜんそくに特効あり

今です！
たんせきぜんそくの流行期は、凡ての人が警戒すべき氣候激變の時け。今です!!
この時期には極めて強壯な人でも風邪を引きがちですが夫がたんせきとなりぜんそくとなると決して油斷はなりません。
油斷は大敵
わけてたんせきぜんそくは最も緊要な呼吸器を侵し途には肺炎、肋膜炎等に變じ易いから、輕症の内に呼吸器病一切の專門藥龍角散の服用が
最も肝要です
又數年の難症に惱む人も怠らず服用あらば氣分は爽快となり病惱は日々に薄らぎ終に治癒するに至る

登錄商標

主治効能
△たんにて常にゴホンゴホンと惱む人
△ぜんそくにてゼイゼイいき切する人
△せき頻に出で夜半オチオチ眠れぬ人
△流行感冒より起るたんせきの人
△たん臭氣を帶び時々血の交る人
△肺病にて常に力なきせきの出る人
△小兒百日せき又はしかせきの人
△音聲のかれ咽喉の痛み總て呼吸器疾患のたんせきに頗る卓効あり又常々音聲を使用する人用ゆれば咽喉を滑かにし音聲のつかれを補ふ事奇妙なり

二日分 二十錢　四日分半 三十錢　二週間分 一圓　一ヶ月分 一圓五十錢
郵送料 [illegible]
取次全國各藥店にあり 賣切の節は本舗へ御注文を乞ふ代金引替は御斷り郵券代用不苦

本舗 藥劑師 東京神田區豊島町 藤井得三郎
電話浪花一四二四 振替貯金東京九一

MITSUWA QUINA-IRON WINE

being prepared from the best materials by the thoroughly scientific investigation, is absolutely free from all defects will be found in general tonics. It contains two powerful specifics: Quina and Iron, which we may affirm it without exaggerations, are the most efficacious remedies regaining energy to persons of weak constitution, inappetence, poverty of the blood, nervous diseases and general debilities in the organism.

The wine is greatly nourishing to all people, without exception, whose mode of life, both physical and intellectual.

Mitsuwa Quina-Iron Wine is very delicious and agreeable to take and, moreover, easy to be absorbed and assimilated.

Price ¥ 1.50.

滋養強壯料

芳香醇良なる本邦産天然葡萄酒を基礎とし完全なる吸收性及同化性を併有せしめたる

◎ミツワ規那鐵葡萄酒

擔任技師 藥學士 河西嘉一

香味色佳良滋養力偉大
健胃補血興奮作用卓絕

（現品寫眞圖）

定價 一壜 金壹圓五拾錢

規那、鐵及葡萄酒は各健胃、補血、興奮、強壯等の諸効驗を擧ぐるものにして、殊に此の三者を配合して、所謂規那鐵葡萄酒となし、食事に臨んで之を服用せしむれば、三者を容易に且愉快に用ふることを得て、何れも確實に消化吸收せられ、其の効價の愈增大することは既に公知の事實に屬すると雖、其の製法不當ならんか、將又其の品質不良ならんか、之を服用するも當に無効なるのみならず却て不快なる結果を齎らすこと言を俟たざるなり、然るに本品は歐米に於ける諸種の製品並に最新の學說に就て調査研究を重ね、山梨縣宮崎葡萄酒釀造所監製の天然葡萄酒を基礎とし、人造著色料を用ひず、純良有効なる規那並鐵を特殊の操作を以て配合し、周到なる用意の下に精製せるものなるが故に、容易に變敗することなく、規那、鐵及葡萄酒の健胃、補血、興奮、強壯等總ての効力を遺憾なく發揮し、天然の佳香美味を具へ、食慾缺乏、營養不足、慢性の下痢、貧血、萎黃病、貧血より起る神經性疾患殊に神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、産後並病後の衰弱、一般の虛弱等に際して適用すべき無比の滋養的飲料たると同時に、精神の困憊並身體の疲勞を回復し、元氣横溢精力增進を欲する場合に推奬すべき絕好の家庭必需品なり。

▼如斯人は滋養強壯料◎ミツワ規那鐵葡萄酒を適用すべし▲

一、一般に貧血して居る人
一、營養の不足なる人
一、顏の色蒼ざめ艶の無い人
一、生來虛弱なる人
一、是と云ふ病は無くても何となく弱く感冒に罹り易い人
一、手足が冷えて寢つかれぬやうな纖弱い人
一、身體の瘦削けて居る人
一、産後や病後の衰弱を早く回復したい人

一、食事の進まぬ人
一、勉強又は勞働して疲れた人
一、精神や筋骨の疲勞を速に回復したい人
一、精力が減り元氣の無い人
一、腺病即ち瘰癧に罹つて居る人
一、肺結核や腸結核其の他結核性の病等にて發熱の永く續いて居る人

一、下痢の永く續いて居る人
一、神經衰弱に罹つて居る人
一、陰萎や遺精など生殖器神經衰弱に惱んで居る人
一、ヒステリー俗に謂ふ血の道に襲はれて居る人
一、ヒポコンデリー俗に謂ふ心氣病に苦んで居る人
一、萎黃病など血液の病に侵されて居る人

▲賣捌―全國到る處の洋酒食料品店。藥舖。雜貨店▼

ミツワ石鹼
ミツワ家庭藥
肝油ドロップス
發賣元 ◎
登錄商號 丸見屋商店
東京市日本橋區橘町四丁目
藥劑、滋養品、石鹼、香粧品、小間物問屋
電信略號◎ミヤ……振替口座東京七一〇番
營業部電話浪花三〇・四四八・四四九・四五〇番

代理店 洋酒、食料品、煉乳、賣藥、化粧品、雜貨、直輸出入商
大阪市東區高麗橋貳丁目
松下善四郎
電話本局一八六、長八二〇番
電信略號マツ七 振替口座大阪一六〇番

[illegible: railway timetable strip along left edge]

京城日報 第三版

五日朝刊(夕刊と合せて八頁)

本紙定價 一部金三錢五厘 一ヶ月金七拾錢 郵税一ヶ月金拾五錢
廣告料 五號活字一行金七拾錢 ▲雑報欄內一行金壹圓貳拾錢 ▲特別指定一行金參圓
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 合資會社 京城日報社 京城太平通一丁目
電話番號 編輯局三四五番・三〇〇番 營業局三四二・二六番

東京より

○支那の時局は、徐世昌の調停に依り、漸次轉換しつゝあるが、其對外關係殊に最近米支間の關係甚だ密接となり、大小の借款相踵いで成立しつゝあるは極めて注目すべき事と謂ふべし。

○米支借款の成立は、一方に於て四國財團の失敗を意味するものにして、目下四國財團の中堅となり居れる帝國は、聊か米支兩國に出拔かれたる感なき能はず。支那財政の窮乏は今更らの問題にあらず。然れども第三次革命成功し、袁總統沒落して黎氏就職するや打續ける戰亂の爲に國庫は窮乏其の極に達せり。

○黎總統の計算する所に據れば、新政府は時局收拾の爲めに二箇月約一千萬元を要し、而して海關稅、鹽稅の剩餘の外他に確實の收入なく、差當り少くも六千萬元の借款を必要とするの事なるを以て。平素より親日主義を標榜する氏は、取敢へず之を帝國より借らんとせり。

○而して我が政府に於ては、實業家方面の意見をも參酌し、進んで之れに應ずるに決定し、新政府と交渉を開始するに至りしが。該借款が行政費に使用せらるゝ以上政治借款なるを以て、四國財團の名儀とするの必要あり。

○我政府は英佛の意嚮を探りつゝありしに、英佛二國は日本が單獨に政治借款談を開始せるものと誤解し、借款問題に於て特に帝國に特殊の地位を與ふるを快しとせざるに至り。一方支那政府亦た、我政府が鹽稅剩餘金以外に直接稅たる地稅を擔保とする事を要求せしを以て、却つて他の列國をも加ふるを利益とし。遂に借款交渉は、倫敦に於ける四國財團の本部に移され今に至るも一向進捗せざる有樣なり。

○是に於てか支那政府は其焦眉の急を救はんが爲め、急に米國資本家と握手するに至り、ヒッギンソン借款、運河借款、大鐵道借款相繼いで成立を見たり、而して此等の借款は皆前渡金をなし。支那政府が之を行政費に流用すべき疑充分なるを以て。四國財團は、其都度之に抗議せしが支那政府は、極力實業借款なる旨を說明し來れり。

○今回全く成立せし市俄古大陸商業銀行の五百萬弗借款は酒の公賣稅を擔保となし居れるだけに特に注目を惹き。例に依り四國財團は直に其の政治借款なる旨を抗議せしが。例の如く支那政府は回答せり佛國は別に其の既得權を害するものとして抗議せるが其根據は頗る薄弱とせられつゝあり(十二月一日)

鏡城訪問記(二)

西海生

□病中の綾江長官

▲鏡城に著いた翌日の午後、綾江柔原長官を其の官邸に訪ねた、門を入ると應接室から玄關の方には三四の大工が威勢よく仕事をしてゐて、鑿や鉋の音が賑やかだつた

▲內玄關に廻つて案內を乞ふ、取次の女中が「病中で失禮ですけれど、お上り下さい」と云ふ、南面せる室の床の上に長官は半ば起きて、道廳より到達した書類を點檢してゐたが、何分五十日も掛で寢通してゐるのに近頃又一層よくない所が出たとかで、再度の手術を受けたと云ふ、まだ昨今も恐らく長官は道廳に出るに到らないであらう

▲「私は十日許り前に全癒する積りで營業開始に際しお見ゐになるやうな模樣もあり、さうすればゼヒ鏡城にお立寄りを願つて此の官邸をお宿にしやうと、あんな風に普請を初めたんですが……政務總監は政務の都合でお中止になり、私の身體は又惡くなる、清會線の試乘も出來ず、ホト／＼弱つてゐますよ」と長官は、秘書官時代のやうな謙抑な言葉と態度で語られる

▲永い間の病氣で流石に面やつれと衰弱が其の顏に現はれてゐた、然し御當人は割合に元氣で「固形食物をとらず、かうして生きて行けるのは山羊の乳のお蔭です」と長官と長官夫人は煙台闊島產の山羊七八頭を飼つてゐる話しをされる「鏡城には牛乳を求めやうとしてもないので、長官は自邸飼養の山羊の乳を絞つて用ゐてゐるとの事である、記者にも淡い味のする山羊乳をコップ二杯になみ／＼と注がれて、是非飲めと勸められたりした

▲「私が病み付く前、山羊の乳はアチコチの母乳のない子供や、病める人に供給してゐましたが、それが亡くなつた子供の追善にもなるなど思ひましてね」と長官は去年相踵いで喪はれた愛兒の追憶に一寸語を進められたりする私人としての長官は鏡城に赴任してから、不幸が續いてゐる

▲「國境を越えて年々生牛が約一萬頭四五十萬圓位露領に輸出され、又浦鹽方面に出稼ぐ道民の賃金が五六十萬圓合せて百萬圓內外の金は確實に道內に流入して來ます」……「道民の出稼ぎと云へば、此頃露貨で持つて來るのは途中が危險だしするから浦鹽の松田銀行で爲替とし歸國する者も出來てゐる」

▲「甲山銅山の所在地は咸南だが、そこに物資を需給するには咸北の城津からでなくてはならぬとの話しがあり、勞々奥地との交通を拓く必要上、城津を起點とした甲山道路の大修築を今計畫してゐます、城津から生牛第一回移出は十一月上旬に行つたが、其の成績により二回三回と續けるらしい、唯今日のやうに船運賃が高くちや、一寸算盤がとりにくからうとは思ひますがね……」

▲「咸北道政の當局者として興味があるのは、南鮮方面だと全羅でも慶尚でも忠清でも其道限りに獨立してゐるが、本道は交通地勢等の關係上、何の調査も計畫も樹て惡いのである、咸北は咸北のみで諸般の計畫も調査もよく立つ事です。近く咸北對間島及び露領の經濟關係調査會を道廳に設くる積りです」

▲長官の話しは多方面に亙つて仲々盡きなかつた、初冬の日は座敷に明るく差し込んでゐる、餘り永居して其の容態に差障つては相濟まぬと考へたから、對談時餘の後辭して去る

大阪だより

○地震と共に北濱の株界大崩落を演ず、一億圓の正貨處分と榎本鐵七郎黑幕の石田仲買店が恐ろしき大賣物に因すと傳へらる、この日の追證一千萬圓値下り概算數億圓に達せるを想見すべし

○綿布綿布日用の味噌醬油薪炭から荷車賃まで値上げをなす、何の理由なるやを知らず、まさか株式界を眞似るにもあらざるべし、理由なき値上げは聽て賣れなくなる原因となる

遊廓移轉を劃し暗中飛躍を試みつゝあるは西大阪の各土地會社なり、遊廓によつて生きんとする人間多き大阪は光榮なる都なり

○東洋汽船會社は六十萬圓を投じ神戸オリエンタルホテルを買收經營すべく內部改造乘船滯在兩用連絡切符を發賣し外客の藝妓舞踊見物希望者のために屋內舞臺など新設備のため開業は來春となるべしと

○京都の學術標本蓄電池製作島津源藏氏賞勳局より綠綬褒章を授けられ學術界に貢獻すると少なからず、多年の刻苦經營酬はれたりと云ふべし

○工業旺盛株や成金や黃金の雨の降る如く聞ゆるより、鋤鍬を捨てゝ盛榮の夢に憧れ日々大阪に迷込み來

○毎夜大阪の各遊廓は箱切枕切を報ず、抱へ主は各地へ仕入主任を特派して買出しに勉む、表に風敎を嚀ぐる人夜箱切らし枕切らしの一人となつて現る、浮世の表裏甚だ面黑し。

○歐洲甜菜糖產國は時局のため耕地荒廢し甘蔗糖の輸入を俟たざるべからざる事となり、日本布哇甘蔗糖の輸出盛況を極む、然かも戰後耕作復奮の打擊は今より想見するに難からず、朝鮮砂糖、南滿洲精糖兩社が三年後歐洲產國復奮時に製品を市場に出すべしとせば本邦糖の過剩は結局、競爭低落を免れず、砂糖の甘きも今の間なり

○松島遊廓は稼店禁止以來嫖客減じ營業難を訴へつゝあるを奇貨とし、ろもの驛頭を始め各電車終點に夥しく各署は之が保護取締りに忙殺さると、やがては之等の人々が生活難の聲を聞かん、歎ずべき現象なり。

○老後の餘樂に結婚紹介をやつて生きた出雲の神と云はれてゐた高橋盛大堂の隱居は今度男女合性四極推命の鑑定を無料でさせると云ふ篤志事業を始む結構なる一奇人なり(今橋佳人)

朝鮮十三道便覽

大正六年一月元旦附錄

大正六年一月元旦の京城日報は、新年附錄として朝鮮各道の事情を詳載せる小册子を添附すべし、何人たりとも一見すれば、座に居て各道を親しく觀察し得べく、稀に見るの好便覽なり、投資家は之に由て將來の計畫をなすを得べく、旅客は是に依て最も愉快なる旅行をなし得べし、何となれば江湖諸君が知らんと欲するものは、殆んど蒐集せられざるなく、殊に其一目瞭然たる處は、窃に本册子の誇とする處也、其の內容の如き、我社が多額の費用と多大の勞力を以て、悉く蒐集せる材料により、て巧に編輯せられたるものなれば、此の一册だにあらば、既に諸君は朝鮮通を以て自任するを得べし、本小册子の如きは、我社が聊か江湖愛讀者諸君に酬ゐんとする衷心に外ならざる也。

斯の如き好附錄ありや

京城日報社

日報詩壇

京元線車上偶成三首

漠漠靑靑水滿田。柳堤日午牧牛眠。遠人易惹並州感。負此風光既十年。
一條鐵路翠屛間。水自潺湲山自閑。疑是老松龍欲躍。車窓呼我入仙寰。
行人指點說金剛。山影模糊天一方。古驛蕭條楊柳綠。郊原漠漠是平康。

評曰 搖筆揮灑霏若散珠

○秋日山行 辻 緋翠

巍巍峩峩聳天空。一路羊腸纔可通。停杖凝眸夕陽裏。無山無野不丹楓。

評曰 清麗

○偶成 藤倉 藤蔭

功名富貴誰須云。浮世觀來是幻雲。月白江風暢情足。不關塵事日紛紛。

評曰 悟道之語、足警凡夫。

○秋日訪友人山居 坂上恰巷

楓紅松翠森煙連。孤杖來敲話舊緣。擁爐邊把杯坐。詩情酒味兩油然。

評曰 筆姿穩滑

○秋日訪友人山居 辻 緋翠

山莊秋暮氣蕭森。夕照斜明落葉深。相對爐邊斟桂酒。松梢風作老龍吟。

評曰 神來之候、用筆頗老橫。

○秋日訪友人山居 藤倉藤蔭

白雲紅葉故人廬。擺脫俗塵心淡如。坐上不愁無綠酒。餐霞有味笑談餘。

評曰 淡中有深味

○秋日訪友人山居 西村秋湖

石逕崎嶇躋且攀。孤軒構在白雲間。夕陽紅樹秋方好。酬唱詩成興動山。

評曰 詞彩妍麗、興情壯快。

○秋雨懷郷 大田水鈴

雲封山循雨蕭收。滿目凄涼惹愁。流落幾年人自老。故園何處夢悠悠。

評曰 追懷不盡

日報歌壇

來る月もまた來る月もうす霄き同じ月夜の美しき秋　龍山 三村秋月

今ははや神のみ前に救はれし心やすさにいそしみてあり　新舘 鈴鹿花醉

今日もまた何事もなく暮れゆきぬポプラ散る木に鵲鳴きて居り　京城 櫻崎あづま

高粱は刈り收れられて一と筋の赤土の道が野を走りけり　龍山 嘲花

手に觸るゝすべてのもの悉く冷たくなりぬ秋のふけれは

別れつゝ人の心のあやぶまれ今日も淋しく歌唄ふかな

悲しみの心抱きてはろ／＼に細き路をば歩み來しかな　京城 秋月生

晩秋の風に吹かれて今も亦此の川岸に君思ひ居りぬ

見よ大正五年掉尾號の偉觀を

朝鮮公論

十二月號 一日出 締切

□有別天道遙者 □朝鮮を去つた人々 □新に來た人々 □實業界の新影 □陸軍大將に成つた三將軍 □寺野子と兒玉伯 □姿くらべ □安保伴

問題の人物 鮮鐵長官 大屋權平論 △大屋の人格は世に定評あり △不可思議なる大屋の態度

司法部長官國分三亥氏曰く
三越社長野崎廣太氏曰く

長谷川總督に對する希望 原田金之祐 三島太郎 趙重應 木村雄次 井上孝哉
△余は海運業者として……△余は銀行家として……△千五百萬人に代りて……△余は此の二大事を……△東拓を去るに臨みて……

△石塚さんと美濃部さん……△吉原さんと野田さん……

未來に生きる人 石森生
初對面印象記 新參記者
名士と雅號
上林敬次郎論
藤川利三郎論

朝鮮に於ける人事異動と民心一新 朝鮮公論社長 牧山耕藏

大正國民は此一大時弊を如何に觀る 國民黨總理 犬養毅

京城地人錄

△醜類の斷刑 鐵道局不正入札事件判決 △朝鮮に於ける郵政の進步 古郵生

神經衰弱豫防法 森安博士
農界の新發明 晴耕野人
鑛業界 鑛業便り
米穀取引所新設すべきや?

京城老舖 辻屋の末路 南山町人
△東京から京城まで △白狐峰將軍登山好の事 板橋生
當面の七名士 ニコ／＼拜觀記 板橋生
美人久龍物語 ペス生

講讀申込所 京城太平通二丁目 朝鮮公論社 電話局二四〇〇番・一〇七〇番 振替口座京城二五七七番

定價一册二十五錢 六册前金一圓四十五錢 十二册二圓八十錢 郵税一册一錢五厘 內地臺灣支那朝鮮各地賣捌店に在り

特許ウエバー式(テーパー型) 外觀壯美、施工迅速、堅牢無比、工費低廉高價なる煉瓦製に勝る
鐵筋コンクリート煙突
大分縣佐賀關久原鑛業株式會社製煉所に於て築造中なる世界第一の鐵筋コンクリート煙突 高サ地上五百五十呎、底部九十五呎 頂上內徑二十六呎三吋 目下四百五十呎まで築造進捗し十二月中全部完成す
(カタログ進呈)
特許ウエバー式鐵筋コンクリート煙突
特許ペデスタル式基礎工事
鐵筋コンクリート一般工事
鐵筋コンクリート用鋼材販賣
東京市麹町區八重洲町一丁目一番地 東洋コンプレッソル株式會社 電話本局二八〇六番

大景品附 歳暮大賣出し 十二月五日より同三十日まで
京城明治町 唐川呉服店 電話二六一番

英語五千字會
▼會長 名文健筆英米人を驚倒せしめたる天才英學者 岩堂保
▼研究資料 天才英學者が自己の經驗上考案精選せる 五千字の日常用語英語
▼教授法 最新學理を應用せる追究累進法 主義カード應用式、本會は一年間に卒業
▼會費 一語一厘の割 一日一錢(內外)
▼程度 中學二年以上 今や入會の好機
▼見本 請求次第無料進呈(見本丈でも利益莫大)
東京市芝區南佐久間町一丁目一番地 電話新橋三三五一番 振替東京二七六五九

◎希國と提督の協定

雅典來電―希臘國王は六箇所の砲臺及び山砲を引渡す事を承諾し（以上既報）ブルーネ提督は三百名の護衛兵を殘して一切の軍隊を撤退せしむる事に同意したり此の協定は聯合國政府に移牒せられたり（紐育電報）

◎英國議會と政府

重要なる政治的發展を見んとす

タイムス議會記者の所報に依れば議會は政府の政策に慊らず國民一般に不平の聲充滿し重要なる政治的發展行はれんとす政府は來議航空動員食糧其他の戰爭問題に關する政府の政策を説明する事となれり（倫敦電報）

◎果斷政策と英紙

デーリー、エキスプレス紙の聲明する所に依れば英國政府は果斷の政策を行ひ其れに依りて五名の軍事顧問に絶對の權力を與へ戰爭に關する管理を委任するに至るべしと（倫敦電報）

◎希國形勢稍良好

希臘國王は聯合國の要求を容れたるを以て一般の形勢稍良好となれり（倫敦電報）

◎露軍ブカレスト到著

露軍はブカレストに到著せり（紐育電報）

◎英徴募兵年齢延長

英國内閣は徴募兵の年齢制限を延長し且つ徴募し得る限りの壯丁を徴募せんとするの議あり（倫敦電報）

◎黎總統政黨に入らず

各政黨は黎總統を政黨内に引き入れんと運動せるが黎總統は之に對し自分は民國の元首として更に政黨に入るを欲せずと聲明せり（北京特電）

◎東宮殿下參宮

東宮殿下には來る八日東京御出發途中名古屋に御一泊の上九日伊勢大廟御參拜に決定せり（東京電報）

◎内田子親任期

露國政府内田子を歡迎す

内田康哉子を駐露大使に任命するに就き政府は外交上の慣例に依り一應駐箚國政府に通牒せしが四日露國政府より歡迎の意を表し來りたるを以て近日中に宮中に於て親任式を行はせらるべしと（東京特電）

◇御學問所職員賜饌

東宮殿下には四日正午より東郷總裁以下御學問所職員濱尾大夫入江侍從長以下東宮職高等官川村伯母堂春子其他數十名を東宮御所に召され賜饌ありたり（東京電報）

◎有島氏卒去

日本郵船會社重役第十五銀行重役有島武氏は豫て病氣の處四日終に卒去せり危篤の趣　天聽に達するや左の如く叙位の御沙汰ありたり（東京特電）

正四位勳四等　有島　武
叙從三位（特旨）

◎東清貨車增結

昨今長春哈爾賓間の貨車減少せるが三日哈爾賓より重なる露國商人長春に來り長春驛に於ける貨物積込の狀況を視察したる上東清鐵道に對し支那需要品のみを輸送せるを難じ貨物輸送上の便宜を與へられたき旨連名にて打電要求せる結果東清鐵道より貨車五十輛を都合すべしとの返電ありしを以て四日より哈爾賓行貨物の輸送を開始すべし（長春特電）

◎石塚總裁出發

石塚東拓總裁は四日午後七時東京驛發列車にて歸任の途に就たり（東京特電）

◎總督都督歸任期

安東臺灣總督中村關東都督は六日東京出發歸任の途に就くべし（東京電報）

◉銀券缺乏の融和

中央政府に於ては各方面に於ける補助貨の缺乏を補はむが爲め一面一圓兌換券の最高發行限三千萬圓を四千萬圓に増加すると共に新に五百萬圓の銀貨を鑄造することに決し不日大阪造幣局に命じて鑄造せしむる筈なれば遠からず出來發行の運びを見る可く、朝鮮よりの請求額も之れに依つて充分應じ得べきは勿論、内地に於ける補助貨の増加は延いて鮮内の缺乏を融和するに著大の効果ある可きを以て小取引業者の痛苦も日ならずして蟬脫し得べし

◉鮮銀振替送金制

本月十五日より實施

鮮銀に於て振替送金無手數料制度を開始すべき旨は四日夕刊に詳報したるが尚ほ右に付同行の發表せし所によれば多少重複の嫌あれど掲げん、鮮滿相互の經濟關係は兩地財界の發展と交通機關其他諸般の施設整備と相俟て頗る著しく近接の度を加へ貿易額の如き著しく増加の氣勢を示しつゝあるが之等方面の開拓に密接の關係を有する朝鮮銀行は此機運を促進し且つ鮮滿金融の疏通を計らん爲め振替送金無手數料の制度を開始し來る十二月十五日より實施することゝなれり而して本制度の目的叙上の如くなる故其適用範圍を（一）在滿洲同行各支店と在朝鮮同行各店相互間（二）在滿洲同行各支店相互間（羅南及會寧を除外す）とし且本取扱を受け得べき取引先は同行關係各店に當座取引あるものに限らるゝ由にして得意先は横線小切手に被仕向人の姓名及び所屬店名を記載し並に振替又は電信振替の何れなるやを明示して銀行に差出すときは銀行は手數料を徴することなく直に振替の手續完了して送金の目的を達し得る仕組なれば之により取引先の受くる利益の大なるは勿論鮮滿貿易の發展に資すること蓋し大なるべきなり

◉統一、速成、普及は我社事業經營の方針なり

朝鮮輕便鐵道社長專務は語る

朝鮮輕鐵會社の社長牟田口元學同專務取締役佐藤潤象の兩氏は目下社用を帶び朝鮮ホテルに滯在中なり四日早朝兩氏を訪問すれば其談に曰く

▲物産と輕鐵　農業を主とする朝鮮に於て此生産物を如何にして需要者に供給せんかは頗る研究を要する問題なり幸に朝鮮鐵道の幹線乃至主要なる枝線は敷設せられたりと雖も未だ其恩澤に浴し得られざる地方甚だ多し、即ち鐵道の便なき僻陬地の物資―縱令ば籾の如き―一俵の價六圓とすれば四圓迄運賃に仕拂ふと云ふが如き有樣なり爰に於てか我等同志の者相圖り前後約四年の日子を費して輕鐵會社を組織したるも全く此缺陷を補はんとするの趣旨に外ならず從つて會社經營の根本義も、統一、速成、普及の三點を信條として進みつゝあるなり（牟田口社長の談）

▲豫定線路の計畫　に就ては既に敷設の許可を得たる大邱、慶州間四十二哩、慶州浦項間十八哩、東萊蔚山間二十七哩、慶州蔚山間同長生浦三十四哩の内先づ大邱慶州間四十二哩の工事より開始することとなり其筋の工事施行認可を得んとしたれども其後都合により大邱河陽間十五哩の工事を行ふことに決し爰十日頃を出ずして其筋に工事施行の認可申請書を提出することゝなり居れり認可を得ば直ちに工事に著手し遲くも明年七八月頃迄には開通せしむるを得べく營業を開始せば一日三往復位の運轉を行はんとするものなり、引續き前述の如き各地との連絡線を完成せんとするものなるが浦項の如きは年額四五十萬圓の乾魚を産出し、慶州も亦紙の主産地としての名あり、或は永川方面に於ける東拓の農場更に沿岸に至つては捕鯨業の根據地たる蔚山の如き農産海産業を多量に生産する地ありて輕鐵の便を利用するの益多きを加ふ可し

▲新線路と各地連絡　次で出願したる新線路は京釜鐵道線を中間に挾み忠清南北道の主なる地點を連絡せんとの計畫にて成歡、忠州、長湖院、驪州間八十九哩、陰城淸州間二十九哩、淸州公州間二十一哩にして局線を通じて忠淸南北の主要都邑を連絡したる一周線を作ることゝなるものなり是等の各線を連絡したる輕鐵の竣工は今後尚數年を要すべきも會社は出來得る限り速成を旨とする方針にて開通の曉は此方面一帶の物資集散上又は旅客の交通上多大の利便を感ずるに至るべし（佐藤專務の談）

◎鮮銀と英國債

申込者は急を要す

今回内地銀行團に於ては英國政府六分利付國庫債券の公募引受をなし朝鮮銀行にても之に加入して鮮滿及び内地各支店出張所に於て公募を取扱へるが既に期限切迫し且内地各銀行に於ける申込好況を呈せるに依り同行各店は申込ある都度其氏名及び金額を東京支店に電信にて通知するの狀況にして此際希望者は至急申込を爲さゞれば募入困難なるべしと云ふ

◉英債賣出に就て

鮮銀當局者の談

二日より銀行團にて賣出したる英國庫債券一億圓は既報の如く朝鮮銀行本支店にても之れを取扱ひつゝあるが右に付鮮銀當局は曰く英債の募集締切は八日となり居る爲め朝鮮滿洲の資本家中には今申込むも其締切の間に合はざるやの懸念を抱かるゝ向あるかに聞くも申込みあれば銀行は直ちに電報にて東京支店に通ずる事となり居るに付其邊は何等遺漏なきも期限切迫し居るを以て至急申し込まるべし又今回の英債は平價發行の六分利にて非常に有利の投資物件とは云ふ能はざれど期限も三箇年にて長からず定期預金を銀行に預入し居る向きの購入物として不利ならざるものと思はる云々

◉繭乾燥と施設

設備の充實を圖ると同時に裝置の改良を要す

▲朝鮮の蠶業　は近時長足の進歩を爲せりと雖も猶ほ產繭點在の狀態に在るを以て繭の生産地又は販賣地に乾繭の設備を整へ繭の共同販賣を行ひ易からしむることは產繭の處理を圓滑ならしめ延いて繭賣買兩者を利するの途にして實に緊要なる施設に屬す故に各道は先年來稚蠶共同飼育所等に簡易乾繭器を配附する外乾繭販賣樞要地に簡易乾繭場を設置し或は組合等に補助金を交附して其の設置を奬勵する等大に乾繭設備の普及に努むる所あると共に一面地方に依りては繭賣買者にして自ら

▲乾繭の設備　を爲す者漸次增加の趨勢あり、本年六月現在に於て官署又は組合等の設備に係るもの一千七百廿九個、繭賣買者の設置に係るもの四十二個、合計一千七百六十三個の多きを算し、内前者の四百七十二個、後者の四個、合計四百七十六個は共に本年度の新設に屬し既設總數一千二百八十七個の三割七分に當れり而して乾繭器の大さは一回の乾繭量最少一斗入より最多六十石に至る二十九種あり之を大別すれば

一斗入乃至五斗入のもの	八七五個
六斗入乃至一石入のもの	五九六個
一石五斗入乃至五石入のもの	二六二個
六石入乃至十石入のもの	一七個
十一石入以上のもの	二三個

にして一回の總乾繭量は一千八百三十六石に上り本年の

▲全道春蠶繭　產額六萬一千五百石は僅々十六七日にして乾燥し得べき計算なり、然れども之れ等乾繭器の普及狀況を見るに平南、咸北、江原、全南、咸南等の如く繭產額に比し其の設備の貧弱なる地方あるのみならず其の構造の如きも一般に粗笨にして器械力を應用せる完全なるものなく熱源は概ね之を炭火に取り而かも直接熱に據るもの其の大部分を占むるの狀況にして乾繭の成績は大體に於て年と共に良好に向ひつゝあるも之れを完全の域に到達せしむるには前途尚ほ遼遠の感あり將來乾繭設備の充實を圖ると同時に乾繭裝置の改良に一層力を用ゐ以て繭乾燥上に遺憾なきを期せざる可らず

◉青島禁輸入品

青島軍司令部にては今回古綿、襤褸古著類（手荷物を除く）古革、古敷物、古麻袋古紙等の貨物に對しては消毒證明書の有無に拘はらず一切青島に輸入する事を禁止する旨發表あり鐵道局にては之れが受附をなさずと

◉優良米依然少し

仁川は目下新穀の出廻期に會し日々數千叺の廻著を見つゝあるが此は重に各當業者の地方買出に係る玄米及び檢査所々在地方面より依托販賣として送致し來る者等にして其の調製の内容は審かに査定する事能はざるも大體に於て良好なるが如く仁川に於ても輸出米として檢査を受くる者は從來の如く包裝不合格は殆んど皆無となり莠雜物過多にして不合格に檢定さるゝもの稍減じたるが依然として優等上格品少きは未だ當業者が營套を脱せざるに非ざるやを疑はしむる者あり此れに就き某穀物業者の談を聞くに優等上格品の少きは單り仁川のみに非ず各檢査地に於いて一樣に遺憾としつゝ有る處なるが此は地搗業者の目的は主として精米業者の側との取引に供せんとする者にして輸出米としての用意を缺き居れる矢先一朝内地に於ける氣配良好なる場合は直ちに輸移出米として突差の間に調製するを以て優等上格品乏しき理なるが更に他の理由としては目下の輸移出米の多くは定期受渡米にして實際輸移出する者尠きと單に精米用としても賣買上商品としての資格を具備すれば足ると言ふが如き觀念を有つて檢査を受くる者あると近時出盛期を控へたる上今年は期米上の關係に促され且つ仁川港の勢力圏が擴大せる結果廻著數非常に増加し在米潤澤に地搗の原料豐富なれば乾燥を充分ならしむる餘裕無く自然碎米太だ多く調製稍困難なる等の諸種の關係に因る者にして十一月上半旬の檢米成績が不合格品多く例年に比し不成績なりしは當業者に取りては實に已む無き事情存したるに依る可し云々因に十一月下半旬の檢査成績を掲ぐれば玄米は檢査總數九千四百四十三石にして中優等上格百三十一石五斗上格百八十一石五斗下格八千七百八十九石不合格四十一石なりと（仁川）

◉神宮獻金締切期

京城府にて取纏め中なりし明治神宮奉贊會の献金は總額一萬七千八百餘圓に達したるが其獻金納付は本月十五日迄なるを以て府は目下取急ぎ集金中なるが獻金申込者は成る可く期日迄に府宛納入されたしとのことなり

◉春川と松永長官

松永京畿道長官は交通狀況等視察の爲め隨員四名を隨へ四日午後二時京春自動車にて春川著重なる官民の出迎を受け直ちに道廳に入れり（春川特電）

◉大尉主計正の著任

軍司令部參謀部附小野大尉及び經理部附入道主計正の兩氏は四日朝龍山に著任せり

人事消息

▲此經恭也氏（日本通信社京城支局長）[illegible]て東上中のところ四日午後九時歸京
▲藤沼武男氏（警務總監部試補）五日より十二日間全南及び忠北へ出張
▲伊澤良立氏（日本[illegible]社員）入京中の處四日夜退京
▲田中新吾氏（三田尻試驗所長）五日朝退京の筈

南言北語

重態の大山元帥は平生非常な壯健で先年宇都宮の大演習の際風邪に罹つて廿日許り引籠つた外藥なぞは口にした事もない▲元帥の强健法は散歩で毎日午後三時から必ず徒歩運動を試み何時も唯一人極めて質素な姿で一定の道を歩いて居た▲元帥は護衛されるなどは大嫌で巡査などがついて行くと『ワシは別に惡い事もせぬし又何の危險もないから』と云つて斷るので大概はお伴なしの一人であつた▲病氣の早く全快せん事を祈つて居るのは恐らく國民全般であらう▲徐世昌老が今度北京へ來る際所勞の爲參上致し難しとの旨を黎總統に通じた▲すると總統は早速二名の武官を隨へて徐の門を叩いた▲門番は誰れとも知らぬが武官を隨伴した人だから相當の人だらう位に思ひ敢て誰何もせなんだ▲後で彼れが大總統だつたと判つて吃驚仰天▲總統が近來到る處で非常に評判の善いのも此の樣な處から來て居るのだらうとの事▲兎に角支那の爲には好大總統である事は次第に證明せられて來た▲東清鐵道では從來薪を燃料に使つて來たが追ひ〳〵薪材も高價になつたので▲今度大連から滿鐵の撫順炭を買入れて使用して試みた▲所が連絡汽罐車と云ふのが薪を焚く樣に大きく出來て居るので呑氣な火夫君は薪のつもりで石炭を一杯詰め込んで火をつけたから耐らない▲汽罐は見る間に眞赤になつて仕舞ふオヤと思つて居る中に處々燒け切れて穴が穿くと云ふ始末流石の火夫も大に面喰つた▲斯う云ふ藝當を演じて汽罐車三臺をメチヤ〳〵にしたので▲會社でも閉口して遂に滿鐵から火夫を頼んで來て昨今長春哈爾賓間の列車に乘り込んで貰ひ親しく教授を受けて居るとは滑稽

平壤

▲府協議員任命　平壤府協議員一名缺席中の處十一月三十日を以て[illegible]
[illegible]著聯隊長大隊長以下の將校下士及び在郷軍人會平壤府並に平壤商業[illegible]發列車にて新義州に向へり

安東

▲吳鎮守使一行　[illegible]警察廳長陳管帶官巡防隊日本側よ[illegible]龍背へ出發せり▲領事代理請宴　安[illegible]に請待し晩餐會を催せり▲田中文學士　總督府學務局編輯課員文學士田[illegible]大連經由南路赴任▲田村官補請待[illegible]なり三日午後八時十分列車にて出發[illegible]

第一回第一期新參學
會長　大木伯
贊助員及講師　□後藤内相□仲小路農相□一木前内相□尾崎前法相□高田前文相□箕浦前遞相□芳賀博士　外數十氏
新聞講義錄
□日本に始めて出來た新聞學の講義錄也記者には僅か半歳（速成科）か一年（正科）の本講義錄講習に依りて誰でも成れる□手取早い立身出世を望む者は來れ此際入會者は其希望に依り入會と同時に東京新報見習記者に囑託す□本月は入會の絶好機□大特典提共中是機勿逸
内容見本つき會則葉書にて申込次第進呈
東京牛込矢來町一番地　大日本新聞學會

日本魂義士號
□我等は犠牲的奉公の心なき今の政治家や宗教家や教育家や其他全國民に對し此義士號を提供して敢て其覺醒を促すのである□本號執筆者井上通泰、掘正臣、長谷川時雨、西村豐、岡部精一、加波百樹、與倉喜平、高島米峯、田村寬義、内藤鳴雪、栗田富太郎、山崎林太郎、增島六一郎、福本日南、幸田露伴、泉岳寺住職、寺尾亨、三輪田眞佐子、澁澤榮一、赤穗花岳寺住職、元田作之進、杉浦重剛の諸氏　税共廿壹錢五厘　東京京橋三十間堀三丁目　振替三一七七五番　日本魂社

冒險世界
長春＝ハルピン＝奉天＝京城＝下關…阿武天風
△鹿兒島灣の水を一息に吞む…
△典型的武人福島將軍…XYZ生
△さがしあてるまで…竹貫佳水
△陸奥宗光政府顛覆陰謀…探偵錄
學習院寮話
飯食の男…武井男爵
茶目畫伯從軍記
獨逸は何ぜ强いか
黄金の壺
現代大臣諸公の滑稽腕白物語
十二月號　定價二十錢　東京　博文館

盛花投入　生花速習錄
どんな初心者も自宅に居乍ら僅の會費で短期與儀に上達せしむ直接口授に勝る最新最良通信教授（悉秘傳公開）東京神田仲猿樂町大日本華道速成會
見本無代　郵税二錢　會則呈

第六十五回 拾圓新債券月賦大賣出　本日より申込受付
貳千圓割増金第一回拾五本當籤す
月賦拂込申込は第一回金一圓小爲替又は振替京城三五七五番に御拂込次第契約領收證書申込順に依り御送り致します
御申込は下記第一回金御送金になれば著金次第契約證書御送り致します

新正月抽籤債券新加入者募集
一、百圓組貳毎月抽籤金二圓六十五錢二、五十圓組貳毎月抽籤金貳圓三、拾圓券毎年參回抽籤金一圓四、五圓券毎年一回抽籤金一圓宛五月
勸業債券貯蓄債券高價買入
御賣却は持參又は書留にて御送りになれば著券次第代金送ります
京城長谷川町五八番地
日本勸業銀行
勸業貯蓄債券朝鮮現物問屋
債券月賦販賣所

日韓書房
新版報告
川合著　強い身體を造る法　定價一圓七十錢　送料十四錢
坪内士行著　なすな戀　定價七十五錢　送料十錢
澁澤一著　村莊小言　定價一圓十錢　送料十四錢
森田草平著　虚榮の女　定價一圓十錢　送料十二錢
野上彌生子著　新らしき命　定價一圓五十錢　送料十八錢
京城本町二丁目　電話一四五一　振替口座一五一一

新築移轉
明治町二の卅
（元漢城病院下横通　川崎大正醫院前）
産科婦人科専門
中央婦人病院
電話二三四〇番
手術室病室各等完備
院長　衣笠茂

…報歩兵第七十七聯隊に入營すべき新兵八百五十七名は三日午前一時二十七分臨時列車にて無事平壤驛に到…員檢查を受け各中隊の下士に引率せられて兵營に入れり其內義州守備隊に入營すべき百三十四名は午前四時…

…一時沙河鎭驛著列車にて馬鎭守使と共に來安方東邊道尹程安東知事高彝…を訪問し田村領事代理と會見…び舊市街に入り一泊の上三日午前五…

▲劍小租…長近藤採公課長石原同秘書…の諸氏十數名を二日午後六時ゟ官邸…

…出發南行せり▲酒井大尉赴任…地守備隊附たりし歩兵大尉酒井幸之助氏は丹波篠山聯隊へ榮轉する事と…

…邸に招待し晩餐會を催せり▲氷上運動團 安東氷上運動團にては小學校…な庭公會堂構內の二個所に滑走場…東及び兩義州官民有志は勿論其他滿鮮各地へ案內狀を發せり

●瓦片で傷く 京城水下町居…し出されたれば之を…人に投げつけて頭部に治療一週間を要する創傷を負はせ此程京城地方法院にて…分となる

●天晴れ、國家の干城に
――一人で外出の出來るやうになる迄――
宣誓式の終つた刹那から

『汝等が今此處に宣誓をするのは昔の武士が金打をして約束を結ぶのと同じである』

◇即ち國のために 一身を捧げると云ふ誓をするのであるから、考へて見て之れの出來ない者、又は軍隊の規則が守れないと思ふ者は手を揚げて其の理由を申し出い――』所屬の中隊長から極めて嚴かな態度で、軍隊內の規則である所謂讀法を讀み聞かされて

◇宣誓をする瞬間 に於いて始めて『俺れは軍人になつた』といふ意識が、強く芽ざしてくる中隊長が更に嚴重な口調で『昔の武士なら血判といふところだが、吾々の血は陛下に捧げた貴重なもので他日使用する時があるのであるから其の代りに拇印を捺せ』と言はれて眞赤な朱肉が

◇拇指をベツタリ と染むるに及んで不思議にも、沸き切つた熱い血が一段高調して『國の爲』といふ觀念が熾烈になつてくるそれから『外に出ては中隊長を核心として一致團結、內にあつては中隊長を父として愉快なる家庭を作り――』といふのに溫情の籠つた軍隊生活の光明を認むるに至る。

◇玄界灘を遥々と 渡つて來て龍山に著いたその夜から冷めたい軍服と著代へて形丈けは軍人になつたもの丶、彼等が最も尊しとする軍人精神は宣誓式の日に署名捺印を了はつた時に於いて始めて完全に吹き込まれる。此の宣誓式が彼等が

◇軍人と呼ばれて 世の尊敬を受け、注意を拂はれるに至る第一階梯なのである。二年間の軍隊生活は此處から出發するのを思へば宣誓式は永久に忘れ難い印象を殘す事だらう。宣誓式が濟めば形に於いても心に於いても立派な軍人になつたわけではあるが、比較的放縱であつた

◇個々の生活から 脫け出で丶嚴たる軍規に支配される時に於いて惹き起す恐怖、不安――之れが無いやうにとの心遣ひであらうが軍隊では初年兵が尚ほ遊んで隊內の空氣に馴れるまでは教育にも餘程の手加減をして、軍規の許す限り或る時は友達となり

◇或る時はお客樣 の樣な扱ひをして彼等が兵營に親しみを覺えてくるに至る幾日かを寬大にして成るべく平靜に過ぎす樣にしてゐる、恁うした細心な注意を受けつ丶單獨外出の出來る位までに養成される新兵は怎んな風に變化してゆくか

●豪遊中捕はる 二人組の大賊

大阪市西區西長堀北通り生れ住所不定の三好幸二(三六)は內鮮裁判所にて前科數犯の處分を受け本年八月二十三日平壤監獄出獄後和歌山縣日高郡御坊町生れ前科二犯の中山市藏(三九)と共謀し十月二日夜龍山元町二丁目後藤某方に忍び込み衣類雜品三十三點(七十餘圓)を窃取したるを手初めに龍山、京城、仁川の三市街地の內地人宅數戶より約一千圓近くの大泥棒を働き仁川敷島京城新町龍山桃山等にて豪遊し居れる所を遂に檢擧せられ京城地方法院にて幸二は懲役七年市藏は同五年の處分となれり

●婚禮場で喧嘩 老婆左手を折らる

京城大平町二丁目相來元方居劉永來(三)は十一月二十四日午後四時頃新雲洞吳能泳方に婚姻の手傳に雇はれ中冶洞崔元七の母金召史(七〇)が同家に唐辛の代金取りに行きたる際口論を初め老婆を突き倒し左手を骨折せしめ治療一箇月を要する創傷を負はせ永來は鍾路警察署に引致されたり

●保險金欲さに甥を殺さんとす 四十男、女に迷つたが身の破滅

京城黃金町二丁目居住茨城縣新治郡土浦町生れの雜貨用達業伊佐山政之助(四〇)が本年六月中保險金を詐取せんとて被保險人なる自己の甥伊佐山酉之助(二九)を殺害せんとして果さざりし事件は京城地方法院に於て豫審取調べ中の處此程終結して公判に附せられたり其詳報を記さんに政之助は本年一月以降新町遊廓小青樓抱娼妓榮事江野澤はなに現を拔かし足繁く通び詰めたる揚句同女より

▲落籍方を迫られ たる折柄偶前記伊佐山酉之助が郷里より便りて渡鮮し來り寄寓して就職口を諦め居れるを奇貨とし同人を保險に附したる上殺害して保險金を詐取せんことを企て六月初旬横濱生命保險株式會社に申込み酉之助を被保險人とし自己を受取人としたる三十五年滿期一千五百圓の養老保險契約を締結し同月十三日第一回の拂込みをなして契約を完成したる後翌十四日酉之助が市內町田新聞部仁川支店に雇はることとなりたるより同人を見送ると稱し同行中殊更に

▲時間を徒費して 南大門驛發仁川行きの汽車に乘り後れしめ酉之助が渡鮮後日尚淺くして地の利に暗きに乘じ朝鮮の王陵を見物せしむべしと稱して汝山驛に同行し直ちに汽車にて龍山驛に引還し徒歩にて仁川に同行すべしとて同日午後八時頃高陽郡龍江面孔德里所在孝昌園內の松林に誘致し休憩せる酉之助の後方より突然携へゐたる棍棒を以て同人の後頭部其他を亂打して人事不省に陷らしめたる上既に同人が絕命したるものと思ひ其場を逃走したるが折柄の豪雨にて一旦絕命したる酉之助は

▲翌朝に至り蘇生 するに至り折好く通り蒐りたる龍山憲兵隊元町派遣所の憲兵が酉之助を發見し犯人政之助は即日新町遊廓にて逮捕せられたるものなりと

●我腹を切開く

仁川花平里百三十五番地崔聖雲(六十)と言ふ老人は數年前より心臟病に罹り居たるが先月末頃より重態となり腹部腫脹し激しき疼痛を起せるより苦痛を堪へ兼ね三日午後二時頃質屋ハ鍾が外出中を見濟まして小刀を取出して臍の邊りに刺し通し力を籠めて縱一文字に約二寸五分深さ五分許り切開の上自ら治療せんとし居る處へ元鍾が歸宅して血淋漓さ滿り居るを見て吃驚仰天し此旨杻峴驛駐在所に訴へ出でたるを以て警官は直ちに同行現場に出張し取調べたるに右の次第と判明したるを以て牛角里仁濟病院に入院せしめたるが醫師の診斷に依れば切創は別段生命に影響せざれ共心臟病は仲々の重症なれば恢復見込みなしと(仁川)

●五年目に捕はる

慶南金海郡下里面進永里朴成賢は元巡査補奉職中金非偵と共謀し大正元年八月十四日頃同所の農李彰根が其妻なる李店娘の妻と姦通せし事實あり職權を濫用し當時朴成賢は李彰根を自宅に招き裏庭に連れ行きて突然捕繩を以て彰根の兩手を縛したる後內密に濟ますべければ此際五十圓を提供せよと脅したるより彰根は翌日午前十時頃田地を賣却して金五十圓を調ひ兩人に渡せしも其後決意して右兩名を對手どり恐喝取財の告訴をなせしかば朴成賢は直ちに捕へられ同年十月釜山地方法院に於て處刑されたるが共犯者たる金棋偵は同時に風を喰つて何處ともなく逃亡せしを以て取り敢へず缺席の儘懲役一年六月の言渡を受け引續き所在嚴探中の處約五年を經過したる今日漸く釜山分遣所の手に逮捕されたり(釜山)

●風變りの泥棒

京城安國洞徐洪植(三)は忠南生れの徐益淳なる者が松峴洞に居住中本年四月十三日忍び込み同人の所有品なる衣類十二點を窃取したるを手始めに其後同人が居宅を變更すれば巧みに之を探出し本年十月末迄に前後數回同人方のみに忍び入りて現金衣類雜品等五百餘圓のものを窃取し之を以て家一棟を買收し妾一名を蓄へわたる事發覺し遂に檢擧され京城地方法院にて懲役十箇月の處分となる

●獲物は雉三百
▽外人の京義線狩獵

北京アグレー氏一行は京義線新幕方面に出獵中なりしが三日北行列車にて北京へ歸れり尙ほ同氏の五日間に獲たる獲物は雉三百餘羽外兎等數匹ありと

●諾威より購入せる長田丸 獨艇に擊沈さる

神戶市小栗商會所有汽船長田丸(三五七一噸)は去る八月諾威より百萬圓にて購入せるものにて船長山本虎太氏以下四十三名乘組九月六日石炭を滿載し香港へ向ひ夫れより西樺に米を積み込み歐洲に向ひたるが去二日ボートサイド附近にて獨逸潛航艇に擊沈せられ即死者五名負傷者五名を出したりとの報ありたり(門司特電)

△長田丸乘組員 佛港到著

瑞典の一汽船は十二月二日ポートサイド附近に於て敵潛航艇の爲砲擊を受け沈沒せる日本汽船長田丸の乘組員卅九名(負傷者六名死亡者三名數に於て前報と相違せるも姑く記して後報を俟つ)を移乘し中途更に佛國水雷艇に移乘せしめたるが右水雷艇は此程ブレスト軍港に入港せる旨海軍省に通知ありたり(東京特電)

●滿洲で捕はる

熊本市坪井町生れの二尾虎吉(三三)は大正三年十二月一日より龍山岡崎町藤井精米所に雇はれ米穀の販賣及び代金の取立等に從業中本年五月六日より同月二十七日迄の間に漢江通り一丁目酒井某外六名より七百十八圓餘を取立て之を以て新町遊廓清月樓にて遊興の末同月二十八日滿洲へ逐電しゐたる

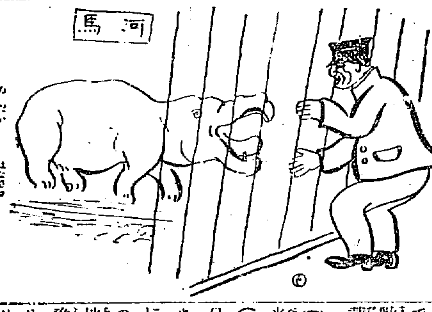
も遂に捕へられ京城地方法院にて豫審取調べを終へて此程公判に附せられたり

●狂犬

仁川桃山町二十三藤富四十吉方飼犬は二三日前より狂犬病の疑ありたるより小治獸醫の診斷を受けたる處果して狂犬病と判明し三日仁川警察署に於てストリキニイネ液を注射して殺したるが目下交尾期にて野犬其他多數の群犬彷徨するを以て何れの犬より傳染した者とも判明せざれば警察署にては嚴重注意中

動物諸君
――河馬――

李王職動物園の愛嬌者はどうしても亞弗利加ニール河出身の河馬君である君は毎日スチームの通つた溫かい部屋で行水に散步に頗る安逸な日を送つて居る、そして去年の八月には一匹の子寶さへ儲けた、御馳走は毎日乾草と馬鈴薯とふすまとを召上るが小河馬君は時に飯時分になると看守の人にじやれつく位ゐよく馴れて居る、河馬君は豚の親分のやうな肥つたからだをぷく〳〵させて朽子のやうな偉大なる鼻先をフウ〳〵!!といはせて居るが如何にもくつたくの無い樂天家のやうな面色である、そして力の强いこともお隣の象君にひけをとらぬ位ゐ、時々檻の金棒をへこますこともあるといふ『あの尻の肉はそのまゝビステキになるぞ!!』と涎を垂れると『否油こくつて不可ません』と看守さんは大眞面目、河馬君は水にもぐるのが大得意で、ぢつと潛むとあの狹い水槽にさゞなみ一つたてぬのである、河馬君は實に〳〵水泳が巧いのである



●不心得の少年

全北井邑停車場前料理店梅津ちよ弟同萬吉(一六)と云ふ少年は此程姉と喧嘩の末內地へ歸るとて同家を飛出し木浦本町國武旅館へ投宿したるが少年の一人旅には所持品とてもなきより何か仔細あるべしと館主に於て種々事情を問ひ訊したる處全く前記の始末と判明せしかば懇々其の不心得を諭し一方井邑なるちよへ宛て萬吉を送還すべければ汽車賃を送附するやう申送りたり然るに少年は何と思ひけん其の後同旅館を飛出して姿を晦ましたる爲めちよより送附し來りし金員も手渡しする能はず大いに困却し居れる由(木浦)

●鼻柱を毆る

京畿道抱川郡西面雲里吳春慶(二九)は十月十九日午後五時頃京城居住の朴章煥と共に抱川郡蘇屹面二加里趙才龍方にて會飲の際同家に洋傘直しが居れるより同人に對し惡口を吐きたるに傍らに同里李云先が居合はせて言語を愼むべしと忠告したるに却て反抗して論爭となり春慶は拳骨にて云元の鼻柱を毆り腰を蹴りて負傷せしめたる一件は京城地方法院にて笞六十の處分となれり

●尺八奉納演奏

南山天滿宮遷宮祭執行後午後四時三十分より琴古流尺八研究所主催し奉納演奏を爲し家村青楓氏先づ本曲を一曲奏奏次で他の會員十數人も奉奏し同好者多數參集せり奉奏後は一般に神酒を拜戴し會員外の參聽多數ありたり

●八百圓を奪ふ

慶南昌馬山米穀商棚橋仙之助方の雇人朴洪伊(二七)と云ふ朝鮮人が去る十月二十六日午後三時頃主家の金を八百餘圓持ち歸る途中洪今石(二五)と云ふ朝鮮人に脅やかされて悉く强奪され洪は其の後直に其の筋より捕縛せられ釜山地方法院馬山支廳に於て豫審中愈々豫審終結して十一月三十日公判に附せられたる結果懲役十五年の刑に處せられたりと

うわさのうわさ

古海將軍の銃獵は いつもお土産の獲物が尠ない▲將軍は擊つてもよく擊たなくもよく雉が出てもよく出なくとも不可なしといふ大悟徹底式で此處には居相だなと思ふと靜かに馬を下つてポンとやる趣向▲獲物は雉子以上なら携て蹈るが小さいものはチヨンガーに呉れてやるといふ擊方ださうな▲龍山の聯隊の營舍の前方の鮮人部落梨多院には文祿の役の當時京城に陣を構へた小早川隆景の士卒の一部が殘つて今日に及んだと傳へられ營舍の前を流れるを小早川と言ひ其後方の山を隆景山と言ふ位だが▲今度來た兵の中には小早川氏の裔所領內の者も大分居るので十中隊長の前澤大尉は入隊式の濟んだ四日の朝、中隊の初年兵を山の上に率ゐて行つて京城の市街を望見せしめ又往前記の關係を說いて『汝等は今祖先が活躍した所に來たのであるから祖先の遺業に耻ぬ程の働きをしなければならぬ』と激勵した

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候

京城 朝鮮銀行

電話 (國)三三一、(國)三三二、(國)三三三、一一〇六、一二六〇、一二六一 振替貯金口座 京城三三二番

支店 東京、大阪、神戶、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、平壤、仁川、元山、新義州、安東縣、奉天、大連、長春、開原、四平街、哈爾賓、營口

出張所

右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

帝國大學病院 赤十字社病院 陸海軍各病院 公私立各病院 御採用品

消化新藥 柏木ヂアスターゼ

糖化力最强にして效力常に一定す

發賣元 大阪道修町三 田邊五兵衛 大阪平野町二 岸田市兵衛 東京本町四 田邊元三郎

各種萬年筆即時修繕◎

新式機械と熟練せる職工により如何なる部分も即時修繕仕候定價送呈

京城旭町二丁目六番地 東京パイン萬年筆出張所

半額割戾大賣出し

半額…は 十二月五日より十一日まで 同 十二日より廿一日まで 同 二十二日より卅一日まで の三回を抽籤を以て定む

この賣出中特に日付印を押捺せる現金受領書を差上げ當日の顧客なりし證と致し候

抽籤…は賣出月日を印刷せるくじを作り發官新聞社員立會最も公平に致し候

抽籤…は始めの一回十二月十二日、二回目同廿二日、三回目翌年一月三日(午前中)

京城本町 ちうぬや

發表…はくじびき後直ちに店頭に揭示し翌日新聞紙上に廣告致し候

割戾…は當籤の日付印ある現金受領書引換に發表の日より各一週間內に其の金高の半額を弊店の商品券を以て拂戾し候

景品…も尙ほ當籤洩れの御方には相當の景品呈上致すべく候

大日本優等清酒 ハクツル 白鶴

品質純良 衛生無害

攝津灘御影町 釀造元 嘉納合名會社

發賣元 京城本町二丁目廿番地 前田酒店 電話一三七番 振替口座四二五番

京日案內

普通 一回前金 一行三十錢 番外 一回前金 一行六十錢 ▲申込後中途掲載中止の節は料金返戾せず

●讓店 學校の前にて有望なる文房具店讓渡したし(姓名在社) 846

求職 英語に熟達し簿記計算事務に多年の經驗を有する者會社商店に雇はれ度(姓名在社) 845

南大門裏通り藥屋建土地百拾六坪格安にて讓渡したし望み方は北米倉町百六番地森義勇に來談ありたし 847

京城で一番安くて上手で丁寧な染物店は 南大門通二丁目 電話二三八六番 西野染工場 833

●ピアノリン、ハトポ。オ月サン。モモタロー 其他一人で歌う面白樂器 京城本町勢山樂器店

●女中入用 年齡不問品行善しきもの本人來談 京城南山町 松園 837

●店員入用 十五歲以上廿五歲迄本人來談 京城本町二 松菊屋小間物店 838

番外

釀造用具一式販賣 龍山漢江通十三番地 末原商店 853

恩給年金立替 利子年一割 即時取引退隱料一切 (大正館向)京城櫻井町 元祖 博多屋本店 852

銃砲火藥雜貨 京城南大門通三丁目電話五八三番 藤木商店 856

銃砲火藥自轉車 ◎京城◎太田◎公州 瀧川銃砲店 854

中古ミシン買ます 御用の方は御一報次第參上仕候 京城鍾路二ノ二七 電話二三三八番 楠商店 855

恩給年金 低利立替 即時現金 短期無保險並に勸業貯蓄債券買入 京城永樂町二丁目 (金光教北手)國江商會 830

英語 普通會話作文に通じ事務に經驗ある者一名雇入る希望者は自筆和英兩文の履歷書携帶午前中に來談せらるべし 仁川 廣昌洋行 849

◎京城春川間每日午前八時卅分出發 ◎南大門通一丁目 廣橋自働車組 電話二一九番 春川京 主務 金正淵 630

銃砲火藥獵具 京城本町三丁目電話二〇九二番 增戶銃砲店 755

父志方熊記儀病氣の處本日午前三時死去候に付生前辱知諸君に謹告仕候
追て葬儀は來る六日午後四時途中の葬列を廢し花町華嚴寺に於て執行仕候
十二月四日
男 志方麟兒
男 志方光之
友人總代 熊谷敏夫
管道生
茂田騎

怒濤の月

小林蹴月作 武内桂舟畫

二二 女の行方 『三』の三

村山は、何方かと云ふと、餘り物に頓着しない方の質らしいが、それでさへも今日の幸三郎の顔色や態度から察して、頗る同情を表した譯なのである。けれども、性來淡白なる村山は、幸三郎がこんなに悄け返つて居るのは、無論文展の出品畫が落選した爲めのみであると信じきつて居たには違ひなかつた。

『君、倉橋君、心配する事も恐るゝ事もありはせんよ。今日の蹉跌は反つて明日の大幸福を生んで呉れる基かも知れんぢやないか。可なり世の中に著名を馳せて居る老大家でさへほん〳〵落選の憂めを見て居るんだもの。君なんかはまだ、多望な前途を控へとるんだからね。』

大分醉ひの回りかけて來た村山は最初途中で出遇つた時とは違つて、語遣ひなども段々大まかになつて來たのであるが、その代り又、衷情から發する眞實心も、大に幸三郎をして感動を深からしめたのである。

幸三郎は、由來酒好家と云ふ程ではないが、今日と云ふ今日は、彼に取つて父親に死別れた時以上の大凶悪日の如き感じが爲てならぬので、つい盃を侑めらるゝ儘に、引受けては飲み飲みした結果、頭の調子も先刻來餘程柔らいで來たばかりでなく一時的にもせよ、多少人間らしい陽氣な氣分にも成て來た所である。

『いや、決して失望は爲ませんよ。明年も落選すれば、明々年と云ふものがあるんですからね。は、は、は。』

『それでもね、君、僕は今だから言ふんだが、先刻見附内で、君の姿を見掛けた時には、什うしても是から投身にでも行きさうな……その癖君は至つて平然たる態度を裝つて居たらしいが……眞個僕は絶對的悲痛の感に打たれて了つたのさ。然し、君自身が、落選位の爲めに失望はせんと云ふのならば、僕も大いに安心した譯だが……』と、村山は、例の如く又少時の内語を途絶らせて、

幸三郎の顔を眤と見入つた後『……では倉橋君、何かそれ以外に君の神經を惱まして居る大問題はありやせんかね。僕は何だか君の顔色を見て居れば居るほど、そんやうな不思議の感じが爲てならないんだがね。』

所謂圖星を指されたので、幸三郎は、手に持ちかけた盃を取落さねばかりに下に置いたが、覺わず虹のやうな溜息を吻と吐き流した。

『見給へ君、何かあるんだらう!?』

『村山君、君の烱眼には、眞個恐れ入ります。作品の落選も落選だが、實はその事以外に、斯うした問題が僕の頭上へ降りかゝつて來て居るんでね。』と、幸三郎は、簡單に許婚の絹代問題を打明けたのである。そして對手の眼にも見ゆるほどの顫へを居に帶びつゝ『怎麼にも男として意久地ない話ですから、何人にも打明けまいと思つたんですがね、折角君が二十年來の友誼を重んじて、親切に言つて下さるから、恥を忍んでお話爲たんです。一體、村山君、斯うした場合には、什う云ふ處置を著けたが好いんでせうね。』

『成程、それは近來の難問題だね。』

村山も流石に、斯う言つて小首を傾けたなりであつたが、やがて、啜るやうに手酌で一杯を呷つて兩眼を瞑つた。無頓著主義の彼も、頓には即答の妙智が浮ばぬのである。

『僕は、女に對する未練よりは、女の兩親の意志が實に憎いんですよ。それも赤の他人なら他人で斷念めやうもあるんですけれども、親代々の繼つときで居ながら、然う云ふ事を仕出來すと云ふのは實に……藝術家の雛子なんて云ふものは、元來狗か猫のやうに考へて居やがるには違ひないんでせう。』

一旦酒の力を藉りて、何事をも忘れかけて居た幸三郎は、此の問題を擔ぎ出すと共に、忽ち元の杢阿彌になつて了つたのである。

『まあ〳〵、倉橋君、然う亢奮すべからずだよ。難局に立つて冷靜に判斷を下し得る丈の度量がなくツちや眞の人間とは云はれんさ。今の話丈では、無論僕にも内面の事情は分りかねるが、察するにその絹代と云ふ娘さんは、決して眞實から君を斷念したものでない事は明かだね。だから兎も角も一應その本人なる絹代さんに逍つて、現在の事情を聞き糺した上の事にするのが、まあ何より先決問題であらうと、僕は推測するんだ。及ばずながら、僕も一臂の力を添へると爲やう。靜かに考へて徐かに實行し給へ。』

村山は、瞑つて居た眼を睜いて、徐ろに斯う言ひながら盃を幸三郎に酬した。

メリヤス類は ㋑ 鈴木支店 京城本町一丁目 電一八七二番

●年賀用名刺 ハガキ 十五日限り 京城 太平堂名刺舗 電話二七二番 振替二三六七番

●水原華城會俳句輯

主評 肥後不蹶庵百蔵宗匠撰

秀逸

- 舟人も碇おろして佳節かな 秋風
- 渡り鳥晩寒き水明り 蟹石
- 蕃茄子を數へる朝や渡り鳥 宙外
- 辻君の佇む影や散る柳 五曉
- 柳散る舟や棹さす頬冠り 秋風
- 霧立つや沃野千里を一と包み 同人
- 朝霧に殘る舗守の灯かな 五曉
- 山里や霧に呑まるゝ放し牛 宙外
- 行秋や初荷を急ぐ蜜柑舟 知足
- 鵙啼いて秋行く杜の小家哉 昇仙
- 天長節菊一輪の薫りかな 同人
- 鉋り屑叩く小雨や散る柳 華川
- 浦風の日和な島の渡り鳥 五曉
- 髪梳けば抜毛の多し暮の秋 讀石
- 髪延びし下山の僧や暮の秋 雨汀
- 柳散る岸に捨てたる屋形舟 昇仙
- 一本の榎にあまる渡り鳥 同人

- 千代八千代御稜威と仰ぐ佳節哉 華川
- 水村の灯も疎ら也渡り鳥 讀石

五客

- 露のまゝ暮るゝ日もあり山の家 宙外
- 夜音のきざさむ日脚や暮の秋 蟹石
- 瘦せし野に駒の太りや暮の秋 秋風
- 傾城の老いて秋行く鏡かな 五曉
- 引絞る弓の響や柳散る 仙骨

人

- 川霧に一羽隠れし小鴨かな 昇仙

地

- 武者一騎霧に捕られし[illegible]哉 仙骨

天

- 天長節世に裏町のなくもがな 同人

軸

- 行秋や殿上人の夢如何に 百歳

新刊紹介

▲趣味之友(冬の住宅號) 二十五錢東京市神田區裏神保町六其社

▲ローマ字(一一の一二) 十二錢東京市麹町區有樂町一の三共ヒロメ會

▲蠶業新報(十二月號) 十八錢東京市日本橋區箱崎町一四其社

▲實業之世界(十二月號) 不良少年から會計課長『青柳有美』三百圓から五百圓で化粧品店の開業、金はどうして借りられるか其他(十三錢東京市麹町區有樂町一の四其社)

▲ニコ〳〵(十二月號) 笑話と勇氣『攻守合頭』[illegible]『木村吾八郎』[illegible]日本の美人島『[illegible]』名と金『[illegible]』其他(二十錢東京市麹町區有樂町三の三共倶樂部)

▲家庭(十二月號) 新婚當時の夢跡『内ヶ崎作三郎』[illegible]婦人に『[illegible]』[illegible](十八錢東京市外巣鴨宮下一七六三其社)

▲帝國青年(十二月號) 本號には大正青年と帝國の前途、百三十七人の世界的學者が付けた日本國民能力の平均點數其他を收む(十錢東京市麹町區内幸町一の四其發行所)

▲戰友(十二月號) 本號には日獨戰爭と歐洲戰爭との海軍比較圖、特別大演習の記、陣地戰の話、歐洲戰爭の特質等を收む(七錢東京市麹町區飯田町二の五二帝國在鄕軍人會本部)

▲樂屋(二號) 菊、吉右衞門市村座の若手連が閑暇に作つた小册子で俳優中で筆の立つ尾上伊三郎、籏面に趣味のある河原崎國太郎その他若多少共に文筆の素養のある俳優ばかりが執筆したもので演藝雑誌に見られない樂内の事情が分明する(十五錢東京府下日暮里谷中本樂屋社)

▲滿洲に於ける移住鮮人の狀況 各種の著書參考書を參酌し實地見聞上より取得したる材料を基礎とし滿洲に於ける移住鮮人の狀況に關し總括的に編纂せり(非賣品安東縣民團内朝鮮人組合)

▲國語敎育(十二月號) 中學國語讀本と參考書『保科主幹』思想と文字との先行關係『向井伊原忠』地方基本教材の研究『加藤芳書』漢字教授の實際『高橋定次郎』綴方教授容易說『高倉牛次郎』東京語と話方及び綴方教授『保科孝一』其他(二十五錢東京市牛込區白銀町二〇育英書院)

▲日本魂(義士號) 井上通泰、坂正臣、長谷川時雨、寺尾亨、杉浦重剛、元田作之進、狩島六一郎其他數十名氏の各方面より見たる赤穗誠忠論を收む其他文苑短評、近罪辭如例(二十錢東京市京橋區三十間堀三の七其社)

讀者の領分

▲自轉車乘が雨手を放して自慢そうに走つて居るが乘つて居る本人はいゝ氣だらうが歩いてる者は突き當りそうで險呑だ曲乘が仕度ければ訓練院邊りで爲る事だ(膝栗毛)▲其筋では莫大な金を掛けて道路を改造して居るのに樋が破れて居るので雨水が人道の敷石の上に落下して敷石が毀れる處がある公徳を重んじて雨の降らない間に修繕したらどうだ(雨の神)▲此頃市中を頑丈な二十二三歳位の男が困つて居ますから辻占一枚買つて下さいと云つて歩いて居るが若い者があまり意氣地が無くて相手にも出來ない(頑固爺)▲寒くなつて煙突の數が增ねたが毎年の樣に煤煙を降らさない樣にしつかり注意して欲しい(排煤生)▲田舍へ獵に來る人は鳥よりも人間の方が大切だと云ふ事を肝銘して置いて貰い度い地方の人が危くてならぬと滯して居る(地方名主)

商況

大阪三品特電

大阪期米(四日)

	四月限	五月限
	一八九、四〇	一八九、九〇
	一八九、〇〇	一九〇、九〇

仁川期米

高値	一六、八〇	一七、二五	一八、〇八
安値	一六、七八	一七、一〇	一七、九〇
止め	一六、七八	一七、一〇	一七、九〇

▲結局保合 大阪の上暮を受けて十三圓七十三錢と新高値に[illegible]の移りに再び〇七錢と押し九錢と返して八錢と保合の裡に小變動を繰り返して散會

▲後場の手振 [illegible]みも來らず買方小躍りを[illegible]保合に終つた

[illegible]する値巾少なく向斯る狀態を持續するならんか併し汽車便運賃も協定出來たりとの事なると近く[illegible]

▲延安大豆九圓より十錢[illegible]

四日の十二月限 後場 寄付 十三圓七十三錢 止め 十三圓七十八錢[illegible]

十一月限 六百石
十二月限 六萬千六百五十石
一月限 五萬六千百五十石

朝鮮總督府 一、松押角材外五點 右購買ス詳細ハ十二月五日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

購買入札 一、白米九十八石五斗 右購買ス詳細ハ大正五年十二月五日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ 總督府醫院納 大正五年十二月五日 朝鮮總督府

新刊書御案内 書名 著者 定價
◎悟道の妙味 釋宗演 九〇
◎度量衡及金銀 上村享一 八〇
◎實驗蔬菜園藝 下川義治 三八〇
◎日本美術史話 黑田鵬心 一八〇
◎米國研究 教育學術研究會編 一〇〇
◎本質上に最新綴方教授 桐田榮次 一〇〇
◎日支併合論 李春蕃 九〇
◎現代に處すべき克己と勤儉 梶山彬 五〇
◎記錄演説と文章 大日本雄辯會編 一三〇
◎木堂清話 犬養毅 一〇〇
大阪屋號書店 京城本町二丁目 電話二〇八

返信券添へ照會あれ詳細回答す 百円進呈 りん病 ばいどく 大阪ドラッグ商會

九州帝國醫科大學 麻病薬主薬は治淋剤こし梅毒薬主薬は驅梅内服薬こし醫學上最有効と確定し東京京都九州帝國醫科大學病院等に於て賞揚配劑せられつゝある高貴薬なる事を保證す若し前述の證言に違へる事を發見せらるゝ時は分析料こして金百圓進呈 ◎あらゆる治療を試みるも効なき患者兎に角一度相談あれ

にせ物に注意 大連青島其他到る處偽物を賣る奸商あり隆盛を羨み東京の商會製劑を御購求の諸君は京城大阪有田へ御申込あれ 振替京城四六七番 電話長二五六七 大阪 グッドラ 京城南大門外

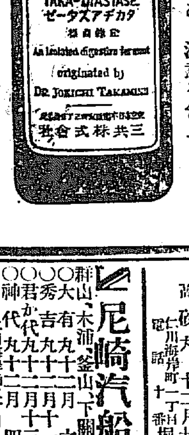
七歳より下のコドモかぜ=ねつ特效藥 主效 かぜ、ねつ 麻疹 肺炎 流行性感冒 マラリヤ熱 百日咳 其他熱一切 山内醫學士 稲垣醫學士 口田藥學士 方證監 劑明修 本舖 大阪東京 丹平商會 價十錢、二十錢、三十錢 各藥店にあり

醬油味噌界の覇王 キッコーマン醬油ほまれ味噌 釀造元 (仁川港日本醬油株式會社工場全景)

男のひみつ病 ◎專賣特許第二七九二四號、同第二九二〇一號、同第二九二六九號の眞空療法器と包皮自然治療器は共に最新發明の軽便自療器にして之を自宅にて秘密に使用せば生殖器の短小、包皮、陰萎、早漏、遺精、夢精、神經衰弱等は頗る手軽に治る ハカキで申込めば圖入り明細書を無代送呈す (專賣特許品が新案特許品かに深く御注意を乞ふ) 東京京橋本材木町三ノ廿五 東京新療法研究所 大阪市北區北森町一番地 大阪新療法研究所

內科 胃腸病 診察夜九時迄 京城本町一丁目 石川醫院 電話二三七二九、三〇九番

タカヂアスターゼ 高峰博士創製の本劑は從來北米及英國にて製造の品を販賣し來りたるも今回本邦に其工場を設け純國產品となれり 類似模造品を本劑と同一强度又は同一効力ありと稱し販賣するものあり注意を乞ふ 本劑は粉末及錠劑の二種あり ●本會社發賣のタカヂアスターゼは總ての胃腸患者に賞用せらるる殊に本邦人に最も多き澱粉消化不良症に起因する諸症に用ひて卓効を奏し從つて能く其榮養を增進す 東京室町 三共株式會社



內科 小兒科 外科 花柳病 診察 自午前八時至午後九時 西小門町舊醫院跡(電話一三二五) 高井醫院分院 院長 正六位勳四等 高井貞治 副院長 千葉醫學士 松崎正彥

從七位勳六等 清本熊藏儀急病にて本日午前一時死去致候間此段生前辱知諸君に謹告仕候

追て葬儀は明後五日午後四時中葬列を廢し長沙洞川端妙心寺に於て葬儀執行致すべく候

大正五年十二月三日

男 清本正夫
親戚總代 清本敏一郎
松本銀藏
山形閑
大橋常三郎
友人總代 國友尚謙
太田清松
權藤四郎介
松村重治
阿部充家
萩谷壽夫
牧山耕藏
後藤瑞巖
辰市本丸
山口太兵衛

神佛葬儀請負 供花御寄贈品一切 京城大和町壹丁目五一 大和葬儀社 電話二四三八番

日本郵船仁川出帆 ○大連、太沽行 三河丸 十二月四日 正午出帆 ○大連、秦皇島行 相模丸 十二月十二日 正午出帆 仁川海岸町十丁目 堀回漕部 電話十一番

尼崎汽船仁川出帆 群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行 ○有吉丸 十二月六日 後四時出帆 ○大吉丸 十二月十一日 後五時出帆 ○秀吉丸 十二月十三日 後五時出帆 ○君が代丸 十二月十四日 後四時出帆 ○神代丸 十二月二十二日 後四時出帆 仁川海岸通一丁目 高杉回漕部 電話五十九番

汽船釜山出帆廣告 門司、神戶、大阪行 ○立神丸 十一月 日後五時出帆 ○小倉丸 十一月 日後五時出帆 元山、清津、浦鹽行 ○立神丸 十一月 日後十時出帆 ○小倉丸 十一月 日後四時出帆 元山、西湖、新浦、城津、清津行 ○第三平安丸 十一月 日後六時出帆 門司、宇品、神戶、大阪行 ○第三平安丸 十一月廿八日後六時出帆 佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 ○天草丸 毎月二日九日十四日廿一日廿六日午後十時出帆 釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

大阪商船仁川出帆 ○外航路所掲航路並各港寄港航路を除く同運賃時間は五分前以て運賃切符發賣仕候 ○群山、木浦、釜山、門司、神戶、大阪行 ×安東丸 十二月十六日後五時出 ×漳州丸 十二月六日 ×天智丸 十二月十二日 ○木浦、釜山、巖原、細の浦、長崎行 ×信濃川丸 十二月十三日後二時出 ○群山、釜山、横濱行 ×廣州丸 十二月一日後二時出 ×海州丸 十二月十七日 ▲木浦、釜山、門司、神戶、大阪行 ×安東丸 十二月 五日正午出帆 ×大智丸 十二月 十日正午出帆 ○鎮南浦、大連行 ×信濃川丸 十二月八日 ×信濃川丸 十二月廿六日後二時出 ○大連直行 ×潮州丸 十二月十八日 ×廣州丸 十二月十一日正午出帆 ○鎮南浦大連行 ▲廣州丸 十二月 日正午出帆 ○清津、浦潮行(元山出帆) ▲印ハ城津西湖津ニ寄港 浦潮不寄港 ×安平丸 十二月五日後二時出 ▲宮島丸 十二月十一日後二時出 ○上海、基隆、打狗行(大連出帆) 基隆丸 十二月四日午後四時出 北丸 十二月十五日午前六時出 御注意 ●朝鮮鐵道及び南滿洲鐵道各驛との連絡切符發賣仕候 ●御乘船の節は本船出帆一時間前無質返可致候 ●×印は一等客御斷り △印は船客御斷り 切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二五〇番 京城切符發賣所 内國通運會社支店 電話七〇八番 ◉中國四國沿岸各港船客に對し一割引を以て延切符發賣仕候

朝鮮郵船仁川出帆 ○全羅丸 十二月五日 ○京畿丸 十二月十六日 ○黃海丸 十二月 日 ○咸鏡丸 十二月十二日 門司より釜山各港寄港群山航路 釜山發 ○穩城丸 十二月四日 ○昌平丸 十二月 日 ○鏡城丸 十二月 日 元山より各港寄港船 元山發 ○第二鎮旅丸 十二月十一日 ○忠清丸 十二月七日 ○平壤丸 十二月一日 城津清津浦潮行 元山發 ○益德丸 十二月 日 甘浦、九龍里、浦項各港寄港 釜山發 ○江陵丸 ○丹陽丸 毎日 釜山發浦項 ○三浦丸 十二月 日 長承浦、巨文島、濟州島各寄港 釜山發 ○海州丸 ○統營丸 ○巨濟丸 ○慶寶丸 毎日 釜山發 ○順天丸 三日目毎 木浦發 ○慶興丸 十二月四日 木浦發 ○慶興丸 十二月 日 木浦發 ○公州丸 十二月 日 木浦發 ○宗信丸 十二月八日 木浦發 ○江原丸 十二月七日 仁川發 ○麗水丸 十二月十一日 ○晋州丸 十二月八日 仁川發 ○全州丸 ○南陽丸 毎日午前 仁川發 本社 電話長一九五二番二三三一番 京城南大門驛前 京城荷客取次店松原運送店(電話長一七〇番)

共同汽船仁川出帆 第三共同丸 十二月五日正午出帆 ○芝罘、大連行 朝鮮總督府命令航路 仁川代理店 本町四丁目 野口商會 電話一七三番 元山代理店 春日町 田口回漕部 京城取次店 南大門 河村運送店